

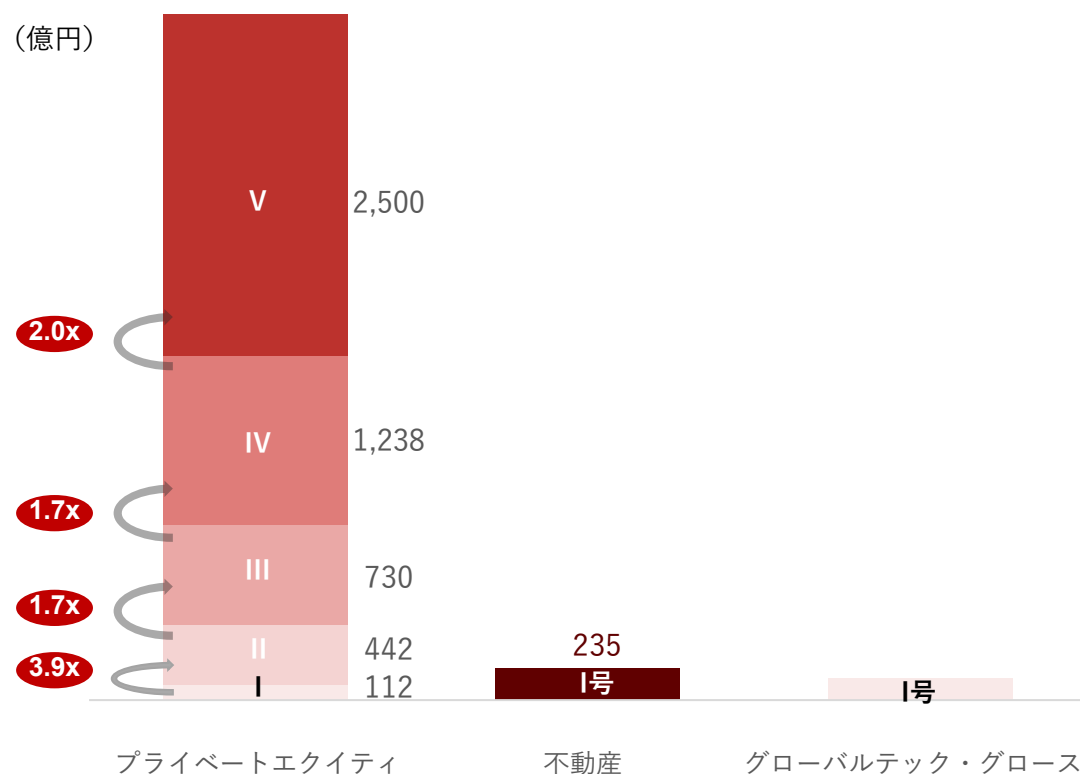


FY2026Q2 決算プレゼンテーション

インテグラル株式会社

2026年8月

進化する日本型プライベートエクイティファンド



グロスMOIC¹

3.0x

グロスIRR¹

29.9%

FE-AUM²

3,661億円

投資
プロフェッショナル³

75人/116人

1. 投資期間中である5号ファンドシリーズを除く、1号ファンド、2号ファンドシリーズ、3号ファンドシリーズ、4号ファンドシリーズのグロスMOIC、グロスIRRの単純平均（1号ファンドはファンド清算時、2号ファンドシリーズ、3号ファンドシリーズ、4号ファンドシリーズは2026年6月末時点）
2. 2025年12月期より不動産1号ファンドの金額も集計に含めています
3. グループ全体

本日のアジェンダ

1. PE投資事業
2. 不動産投資事業
3. その他事業
4. 2026年Q2の実績
5. 収益の3本柱について

総括

Appendix



1

PE投資事業

日本の中堅企業に注力しながら、 これまでに投資した事業価値（EV）累計は8,700億円超

1号



封入封緘機 大手



世界的パリコレブランド

SHICATA CO.

女性鞆OEM 大手



TVCM制作 大手



住宅賃貸斡旋 大手



光部品市場グローバルニッチ

2号



高集客居酒屋チェーン



くさび型足場製造 大手



低価格帯ネイルサロン 大手



低価格帯カット国内最大手



第3極最大手キャリア



世界最大級のクロマグロ養殖場運営



レディースアパレル大手



毛髪関連事業大手



車載用サーミスタ業界大手

3号



ダイレクトマーケティング事業運営



IT/RPAの専門家集団



肥料/アンモニア化学プラントEPC大手



独立系肥料メーカー大手



自販機・冷蔵ショーケース大手



ベルトコンベア部品大手・ロボットSler



DX/IoTの専門家集団



カラーコンタクト企画販売大手



ブライダルリング大手

4号



フォト関連市場 大手



業務用木製家具 大手



半導体用フォトマスク大手



投資用アパート販売 国内大手



オフィスコピーサービスパイオニア



精密加工技術グローバルニッチ



国内最大規模のIT人材事業者



国内最大の動物病院グループ



大型高層ビル用の鉄骨ファブリケーター



アートのパイオニア

5号

旭化成メディカル株式会社



血液浄化関連製品の開発・製造・販売



DX化を推進するソリューションプロバイダー



高性能樹脂の加工専門メーカー



不動産情報サービス



総合エンタメプロデュースカンパニー

投資・Exit状況1/2

2026年6月末時点

投資先	企業概要	ファンド	プリンシパル
 BPS	封入封緘機メーカー	Exit	Exit
 Logisil	世界的パリコレブランド	Exit	投資中
SHICATA co.	女性靴OEM	Exit	Exit
 TYO	TVCM制作事業	Exit	-
 アバマンショップ	住宅賃貸斡旋	Exit	-
 FBest	光部品市場グローバルニッチ企業	Exit	Exit
 Tbi Group	マルチブランド、高集客居酒屋チェーン	Exit	-
 信和株式会社	くさび形足場の製造・販売	Exit	-
 株式会社コンヴァノ Convano	低価格帯ネイルサロン	Exit	Exit
 QB HOUSE	低価格帯カット事業	Exit	投資中
 SKY	第3極最大手キャリア	Exit	Exit
 J-travel inc.	世界最大級のクロマグロ養殖場	Exit	-
 ITOKIN Styling the Next	大手レディースアパレル	Exit	投資中
 アデランス	ウィッグ等の毛髪関連事業	投資中	-
 センサで世界を測る、未来を拓く。 OHIZUMI	車載用サーミスタ製造	Exit	Exit

投資先	企業概要	ファンド	プリンシパル
 DmMiX	ダイレクトマーケティング事業	部分Exit	投資中
 B BTC	RPAを中心としたITプロ集団	Exit	Exit
 TOYO	肥料/エチレンプラントの開発	Exit	Exit
 日東工フシー株式会社	独立系肥料メーカー	Exit	Exit
 SDRS	自販機・冷蔵ショーケース製造・販売	投資中	投資中
 JRC	ベルトコンベア部品製造・販売	Exit	投資中
 豆蔵 MAMEZOU HOLDINGS	システムインテグレーター	Exit	Exit
T-Garden	カラーコンタクト企画販売	Exit	Exit
 PRIMÒ GHD	ブライダルリング事業	部分Exit	投資中

投資・Exit状況2/2

2026年6月末時点

IV	投資先	企業概要	ファンド	プリンシパル
		新品・中古カメラの小売	投資中	投資中
		インテリア・コンラクト家具の企画・製造	投資中	投資中
		半導体用フォトマスクの製造及び販売	Exit	投資中
		投資用アパートの開発・販売	投資中	投資中
		オフィスコーヒーマシン事業	投資中	投資中
		精密機器の製造及び販売	投資中	投資中
		ソフトウェア関連事業	投資中	投資中
		動物病院グループ	投資中	投資中
		大型高層ビル用の鉄骨ファブリケーター	投資中	投資中
		キャラクター玩具の企画・開発・販売企業	投資中	投資中

V	投資先	企業概要	ファンド	プリンシパル
	旭化成メディカル株式会社	血液浄化関連製品の開発・製造・販売	投資中	投資中
		インターネットによる総合ゴルフサービスの提供	投資中	投資中
		DX化を推進するソリューションプロバイダー	投資中	投資中
		高性能樹脂の加工専門メーカー	投資中	投資中
		不動産情報サービス	投資中	投資中
		総合エンタメプロデュースカンパニー	投資中	投資中

投資・Exitともにアクティブ

1～7月



3号回収

2026年2～4月

立会内取引にて売却



3号回収

2026年3月

全株式を第三者へ譲渡



4号回収

2026年3月

公開買付けを通じて売却



5号投資

2026年3月

八十島プロシード株式
会社への資本参加

4号追加投資

2026年2～7月

既存投資先である
動物病院グループに
よる5件の追加投資

5号投資

2026年6月

アットホームホール
ディングス株式会社
への資本参加

5号投資

2026年6月

株式会社STPRへ
の資本参加

2

不動産投資事業

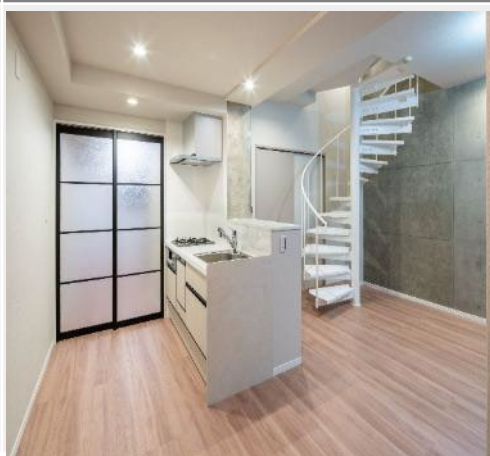
多様なバリューアップ戦略で不動産価値を向上へ

バリューアップ戦略はリノベーションやコンバージョンなど多種多様

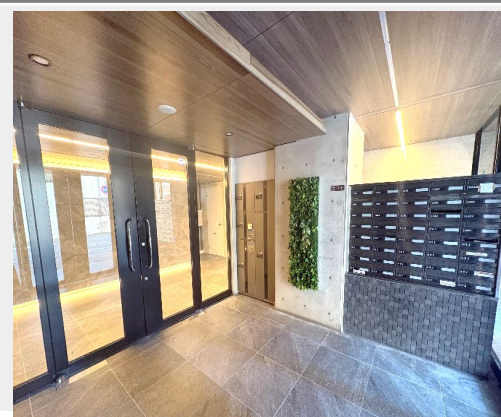
ホテルコンバージョン



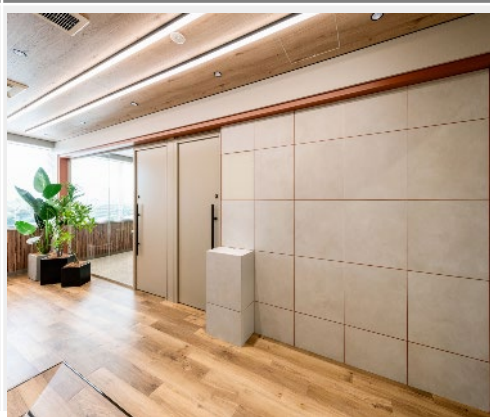
住宅リノベーション（専有部）



住宅リノベーション（共用部）



オフィスリノベーション



不動産投資は幅広いアセットクラスでアクティブに推進

物件取得額は約550億円*まで拡大

高いソーシング力を活かして福岡市所在物件の新規取得並びに売買契約を締結

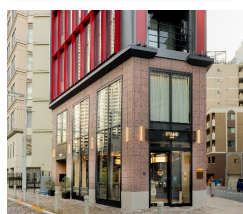
～2026Q1

2026Q2～

M:集合賃貸住宅（保有物件の一部を掲載）



H:ホテル



O:賃貸事務所



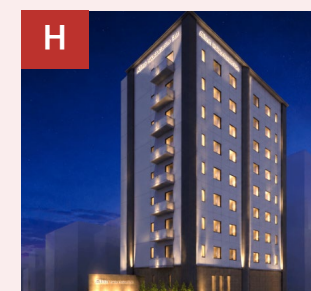
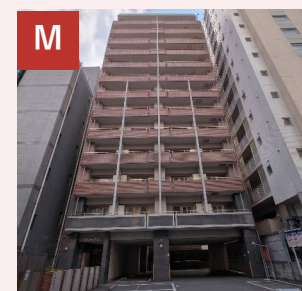
R:商業施設



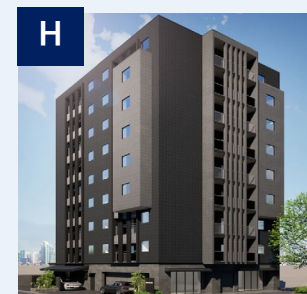
L:物流施設



新規取得物件



売買契約締結物件



M：集合賃貸住宅、H：ホテル

3

その他事業

グローバルテック・グロース投資事業

投資ステージ グロース	1号ファンドサイズ \$100M	投資対象 Japan Nexus
投資地域 アジア・グローバル	Granite Asia Capital とJV及び 共同ファンド設立	Touring Capital とのアライアンス

Granite AsiaとのJV



差別化・付加価値

- GraniteはAUM\$50億以上を運用するアジア最大級のマルチアセット投資プラットフォーム
- 日本市場及び市場参入に対する知見・専門性
- 日本、アジアにおけるビジネス拡大に対するハンズオンサポート
- 産業のトッププレイヤー、戦略的パートナー、人材等のネットワークへの広範なアクセス

グローバルテック・グロース投資実績

daloopa

グローバルテック・パートナーズ

2025年9月

AI財務データプラットフォーム企業

notta

Granite-Integral

2025年10月

AIを活用した音声議事録・文字起こしサービスを提供



Granite-Integral

2026年3月

アニメイラスト特化型のAI画像生成プラットフォームであるPixAIの運営企業

omio

Granite-Integral

2026年3月

グローバルな交通インフラプラットフォームの運営企業

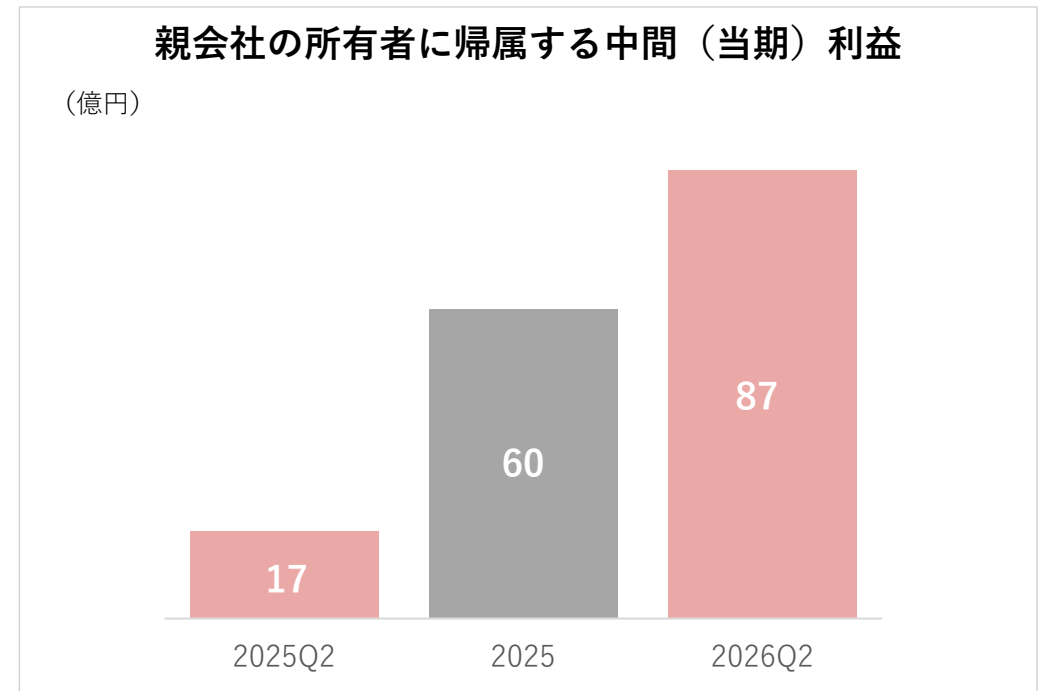
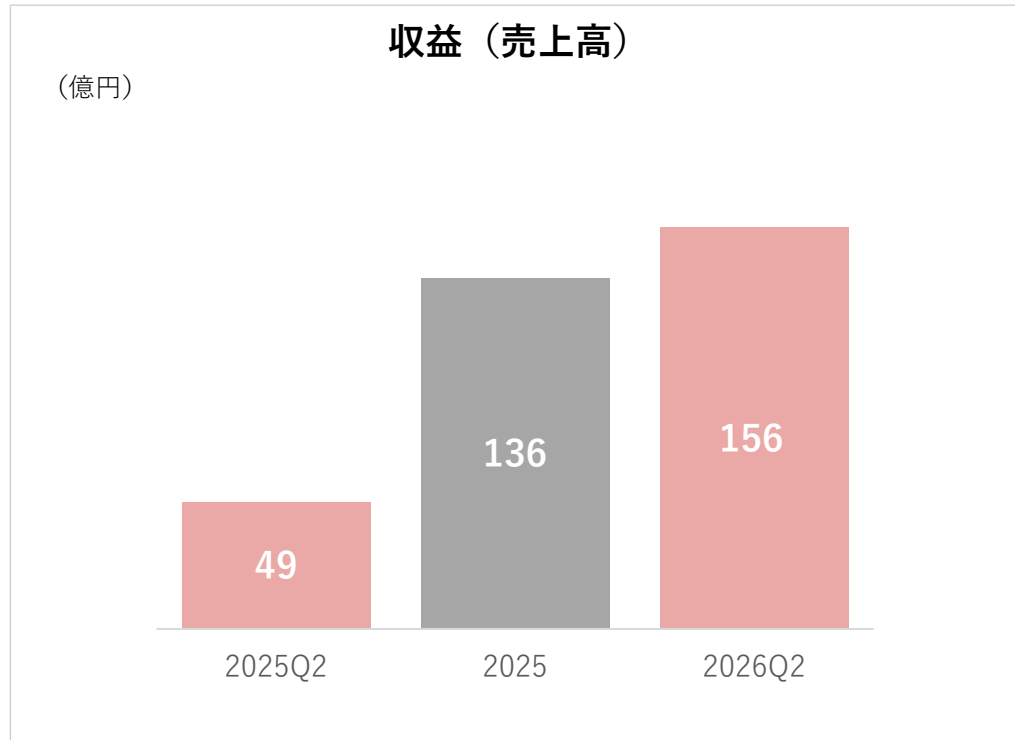
4

2026年Q2の実績

収益・利益の推移

主にP E投資事業によるC Iの実現により収益・利益は前期比で増加

(詳細は18ページ)



収益・利益の主な増減要因

(億円)

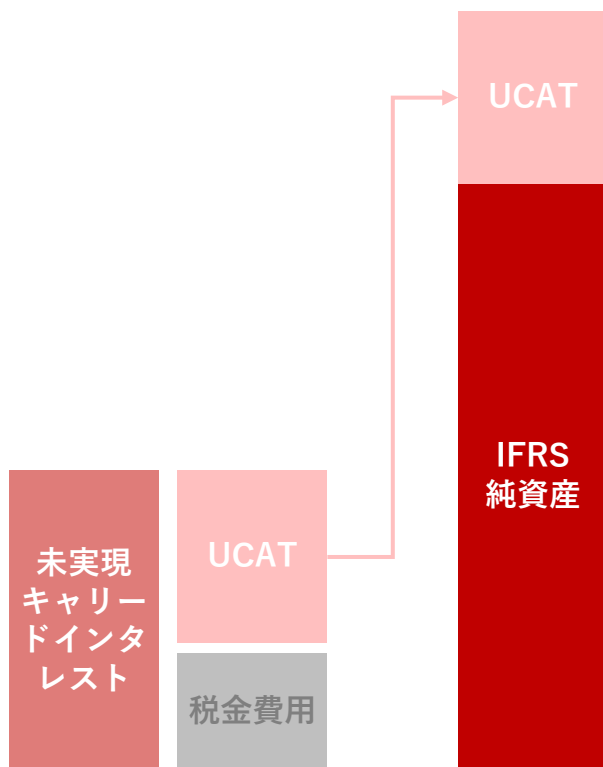
2025Q2	2026Q2	YoY	主な増減要因
△2	6	+8	PE △3：上場投資先は株価変動により公正価値が増加。非上場投資先は、財務内容改善の一方で、金利上昇を含む各種指標悪化により公正価値が減少。PE全体として投資収益総額は減少 不動産 +8：売却案件の取引価格への評価反映、取得後1年経過に伴う評価手法の変更（投資簿価から変更）等により公正価値が増加し、不動産としての投資収益総額は増加 グループ全体：上記の結果、投資収益総額は増加
38	40	+2	PE △1: 5号ファンドシリーズの投資期間開始が6ヶ月間寄与した一方で、3号・4号ファンドシリーズの投資先企業のExitにより計算の基礎となる投資残高が減少、全体として微減 不動産 +3: 1号ファンドの継続的なファンドレイズ活動により新規のLP投資家加入に伴い出資約束金額総額が増加し、受取管理報酬も増加 グループ全体：上記の結果、受取管理報酬は増加
13	109	+96	3号ファンドシリーズのCI受取収入
49	156	+107	
17	87	+70	

経済収益ベース純資産の着実な成長を目指す

フレームワーク

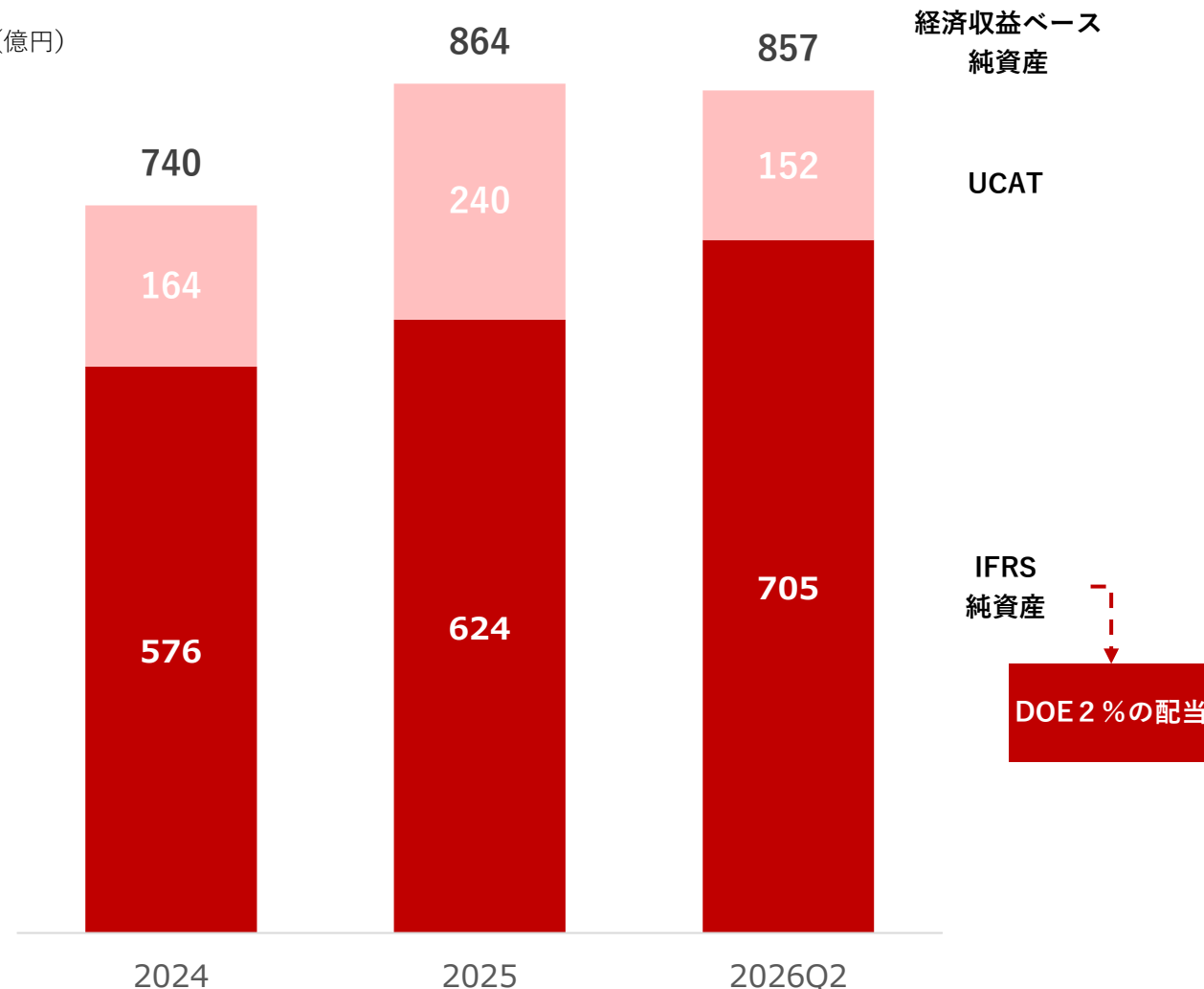
UCAT : 未実現キャリート
インタレスト (税引後) ⁽¹⁾

経済収益
ベース純資産 ⁽²⁾



経済収益ベース純資産

(億円)



1. UCAT (Unrealized Carried-Interest After Tax) / 未実現キャリートインタレスト (税引後) : 未実現キャリートインタレストから足元の実効税率に基づく税金相当額を控除した金額
2. 経済収益ベース純資産 : BS上の純資産 (親会社の所有者に帰属する持分) + UCAT

剰余金の配当

2026年12月期中間配当金は、7月取締役会にて当初予想通りの18円50銭に決定

	決定額 (2026年12月期中間)	直近の配当予想 (2026年2月10日公表)	前期実績 (2025年12月期中間)
基準日	2026年6月30日	同左	2025年6月30日
1株当たり配当金	18円50銭	同左	17円00銭
配当金総額	630百万円	-	575百万円
効力発生日	2026年8月20日	-	2025年8月20日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

(ご参考)	1株当たり配当金		
基準日	第2四半期末 (2026年6月30日)	期末 (2026年12月31日)	年間
配当予想	18円50銭	18円50銭	37円00銭
当期実績 (2026年12月31日)	18円50銭	-	-
前期実績 (2025年12月31日)	17円00銭	20円00銭	37円00銭
前々期実績 (2024年12月31日)	12円00銭	22円00銭	34円00銭

5

収益の3本柱について

収益の3本柱

1

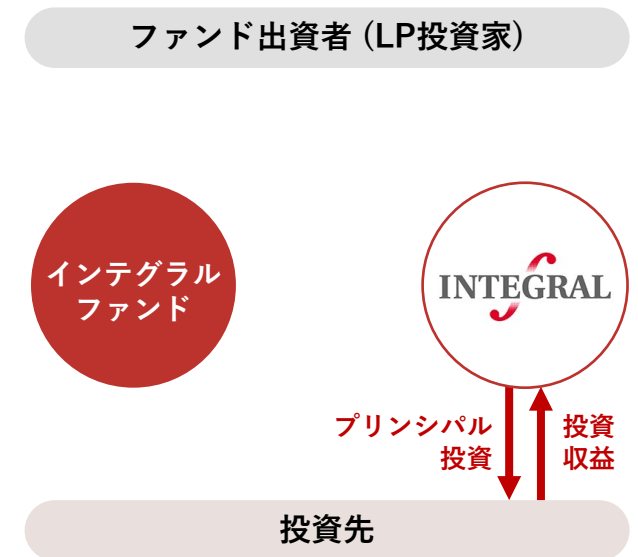
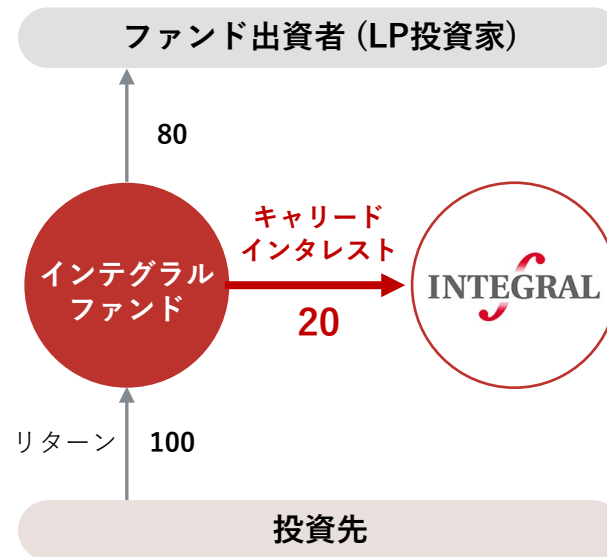
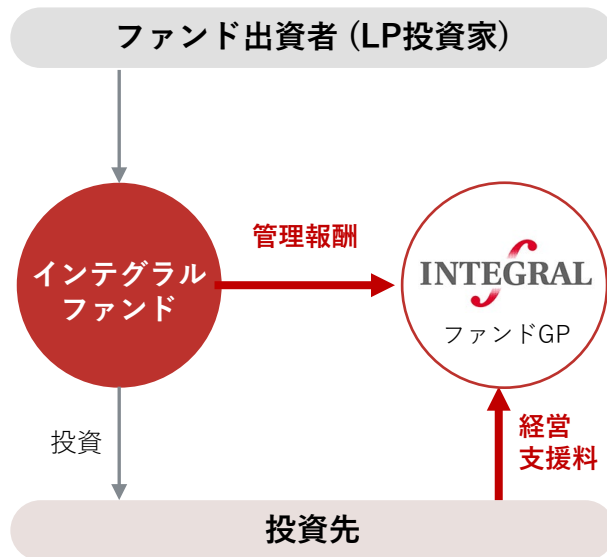
複数ファンドのFE AUMから
一定割合の管理報酬を
毎四半期毎に受領

2

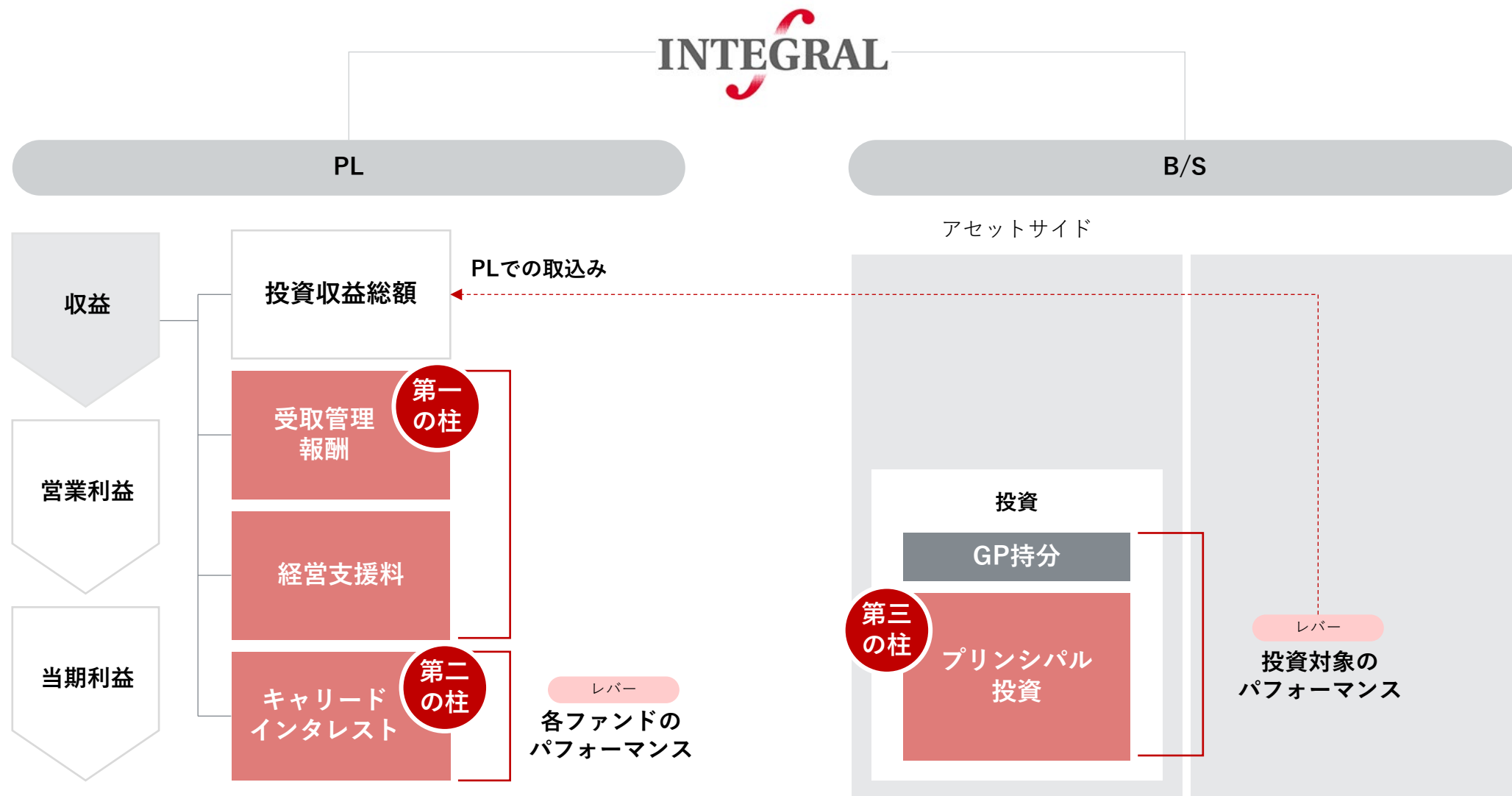
リターンの一定割合を受領

3

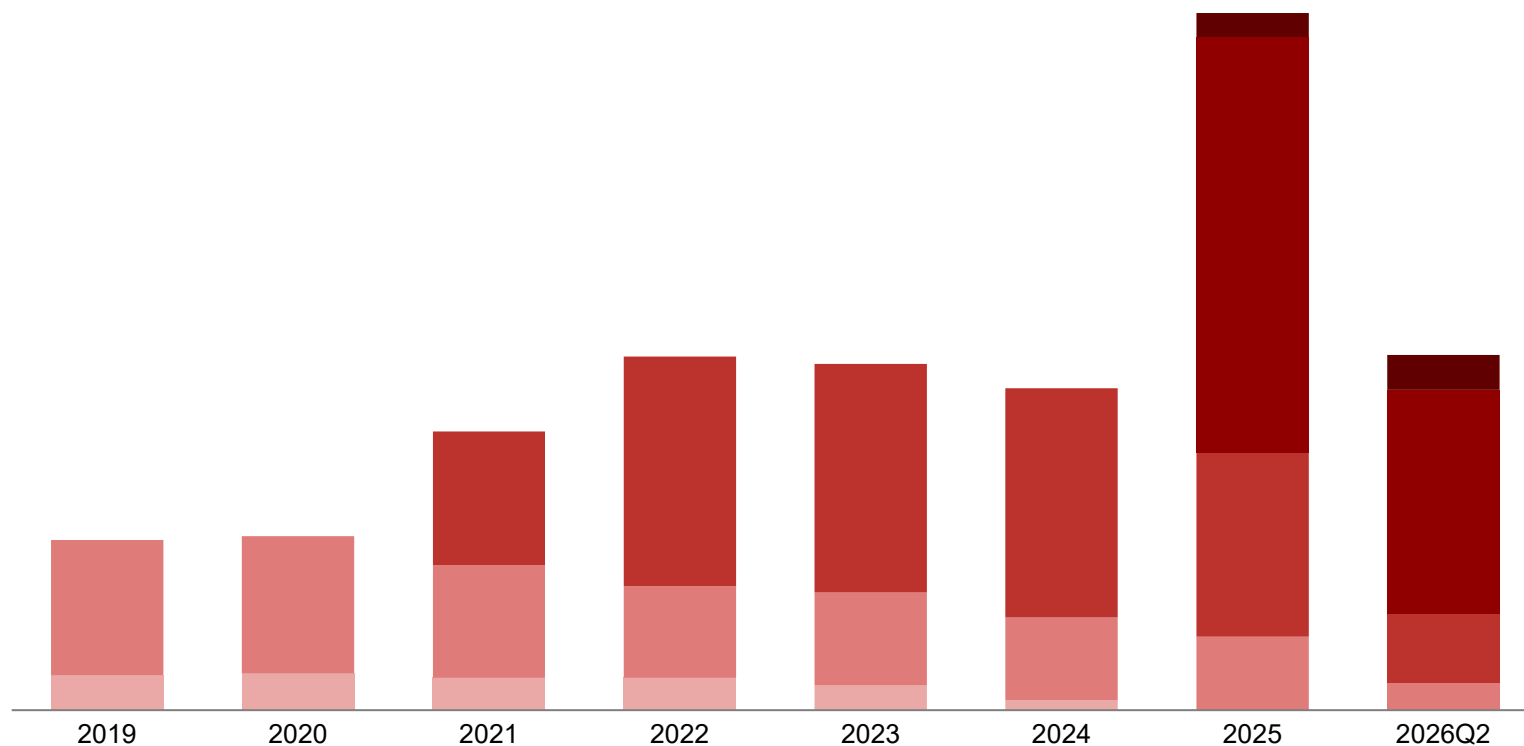
ファンド投資と自己資金を同時に出資。
インテグラルだけが提供する競争優位性



3本柱によるユニークな価値創造モデル



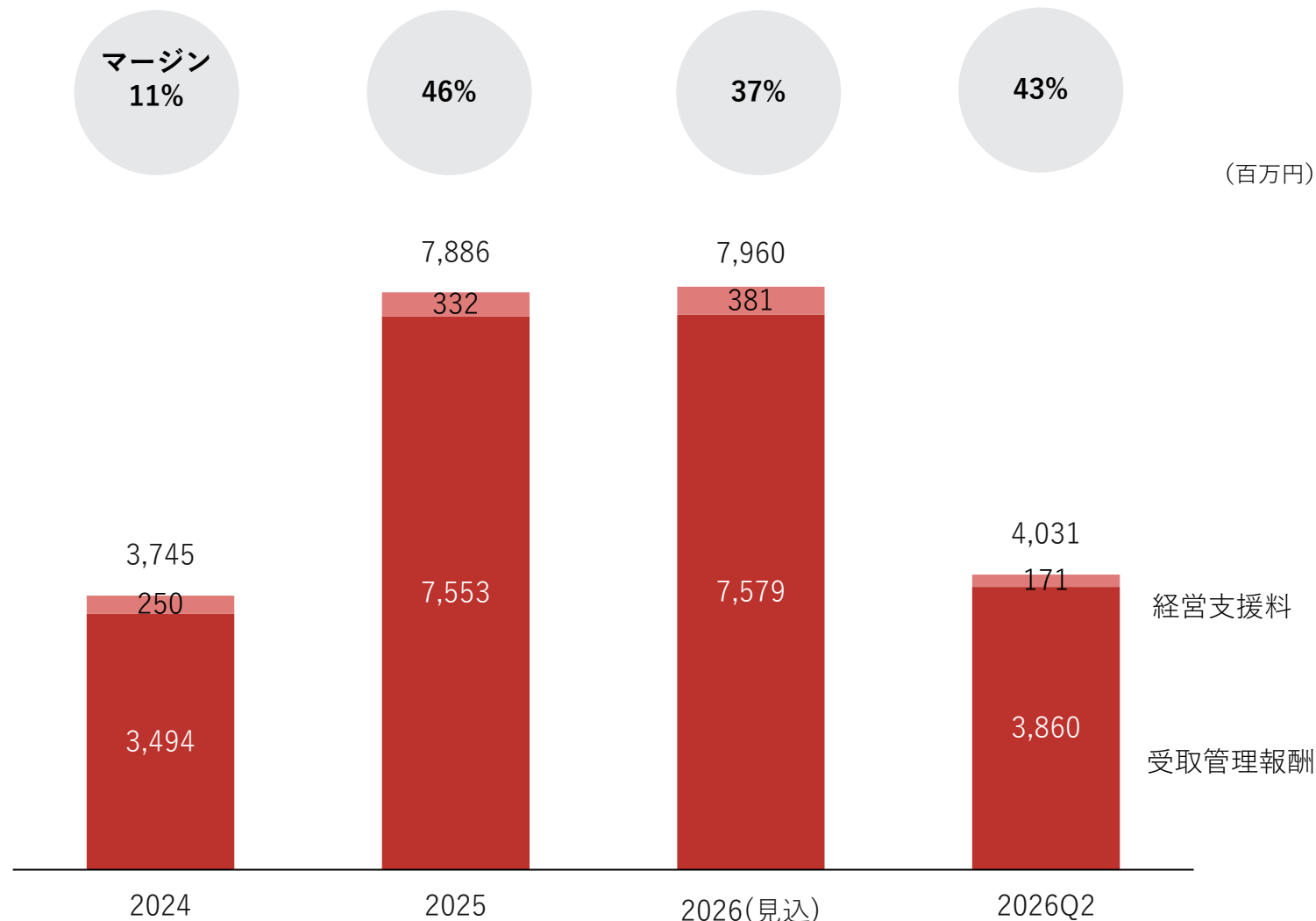
第一の柱① 管理報酬は積み重ねへ



第一の柱② 良好なリカーリングマージン

フレームワーク

実績および見込み

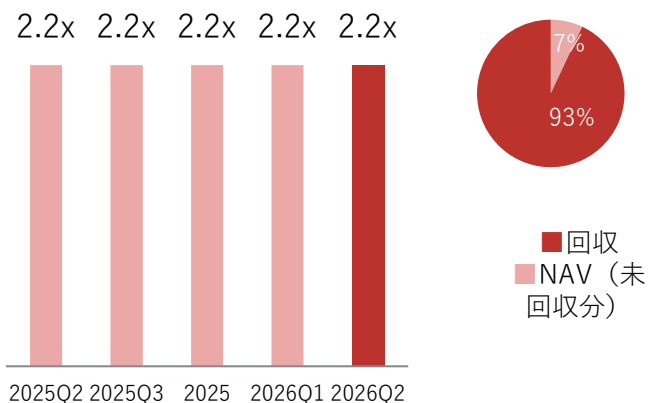


1. マージンの算定においては、営業費用から一時費用を控除。一時費用は、24/12期は1,888 百万円、25/12期は125百万円、26/12期は564百万円の見込

第二の柱① 堅実なファンドパフォーマンス

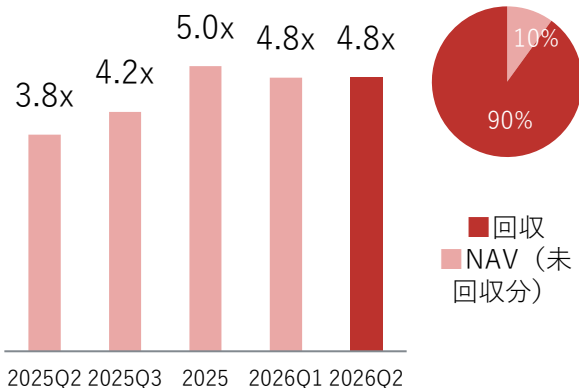
2号ファンドシリーズ

2014～ 出資約束金額：442億円



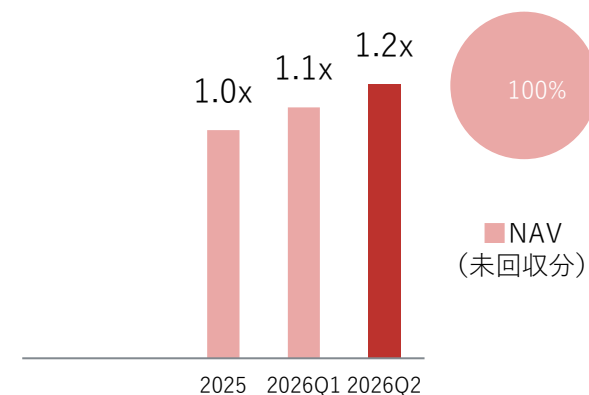
3号ファンドシリーズ

2017～ 出資約束金額：730億円



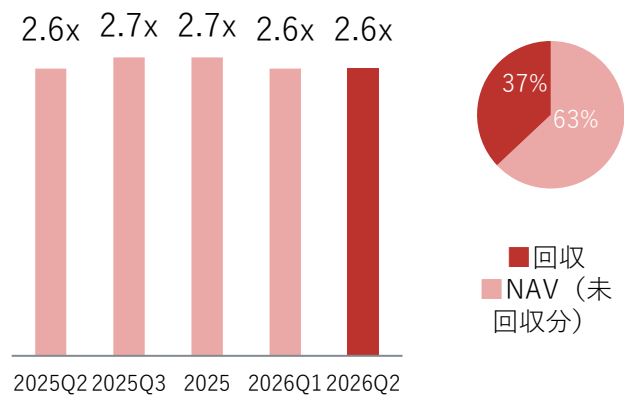
不動産1号ファンド

2025～ 出資約束金額：235億円



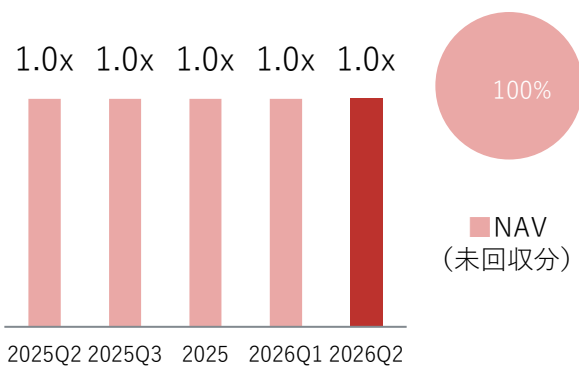
4号ファンドシリーズ

2021～ 出資約束金額：1,238億円



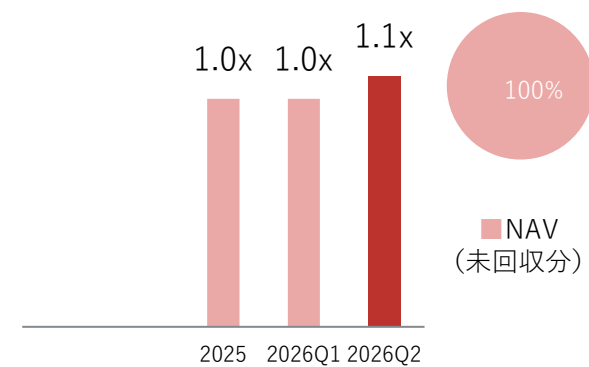
5号ファンドシリーズ

2025～ 出資約束金額：2,500億円



グローバル テック・グロース

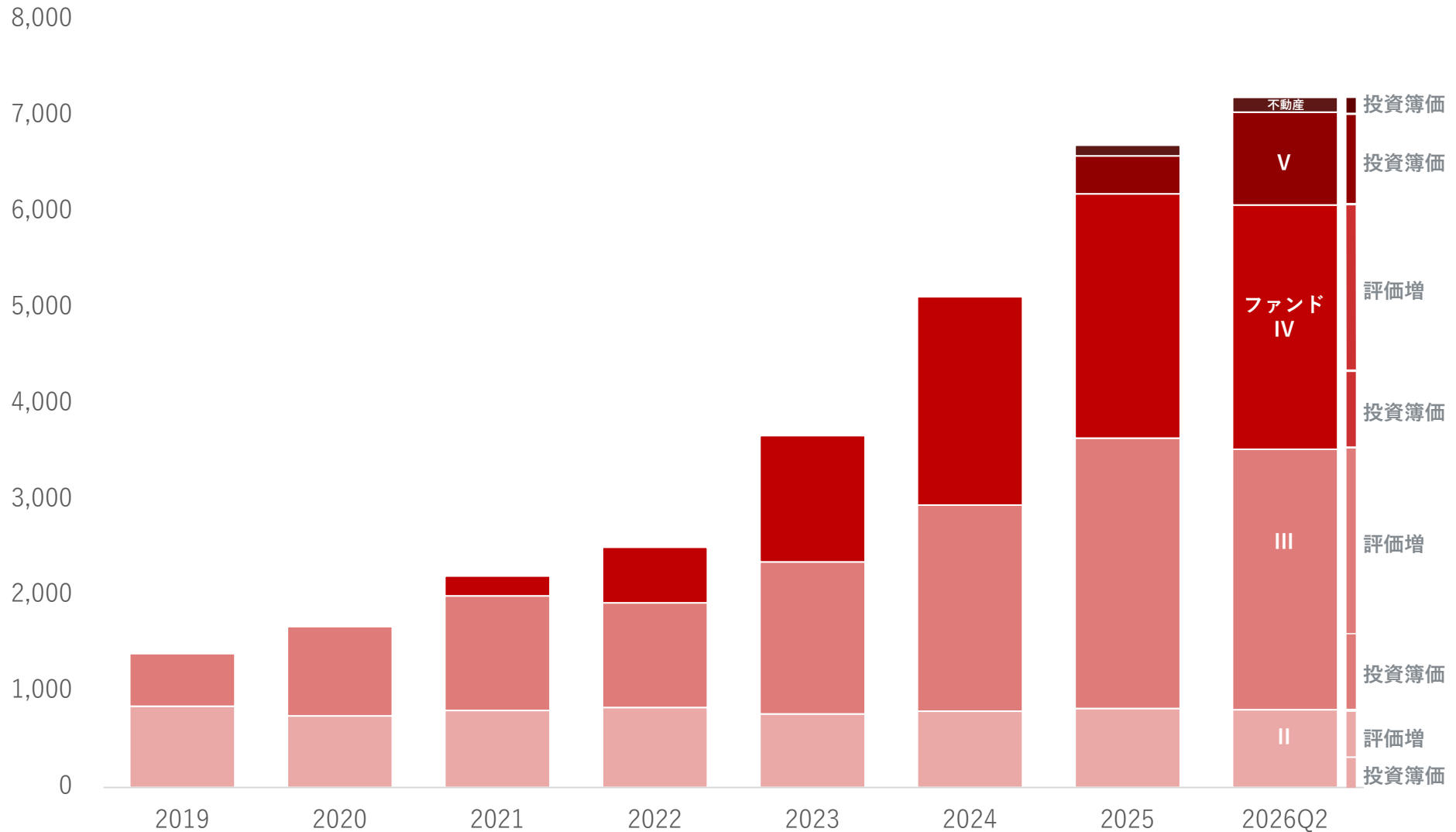
2025～ 出資約束金額：\$100M



第二の柱② キャリートインタレストの源泉

(億円)

価値増大後の「ファンド残高」
(回収 + NAV未回収分)



第二の柱③

「投資先繁栄」をまず第一に大切にし、結果としてリターンに

ストック残高がどれだけ成長しているか

「ファンド残高」が
価値増大している

源泉

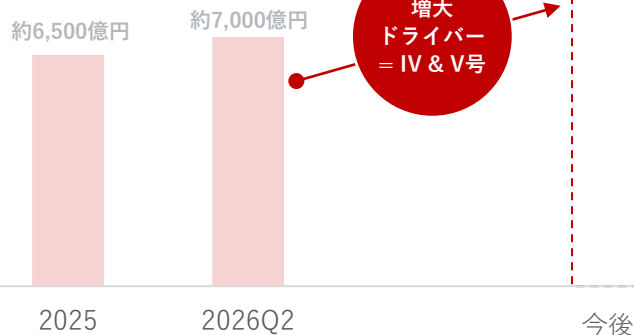
「キャリドインタレスト」が
増大している

源泉

ストックからフローに

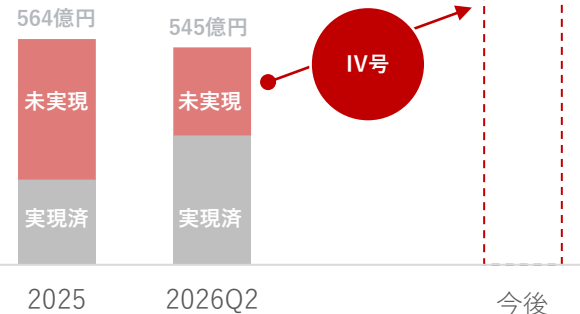
キャリドインタレスト
の将来の実現額を予想可能

価値増大後の「ファンド残高」
= 回収 + 残存FV(フェアバリュー)



源泉

「キャリドインタレスト」が増大

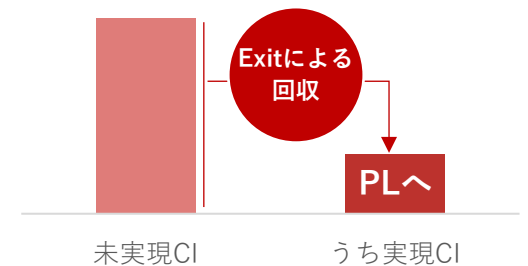


決算短信5ページでも主要なKPIとして開示

(億円)	2024/12	2025/12	2026/6
AUM	2,885	5,765	4,689
...			
未実現キャリドインタレスト			
2号ファンドシリーズ	6	10	7
3号ファンドシリーズ	80	165	39
4号ファンドシリーズ	150	176	174
不動産ファンド1号	-	-	0

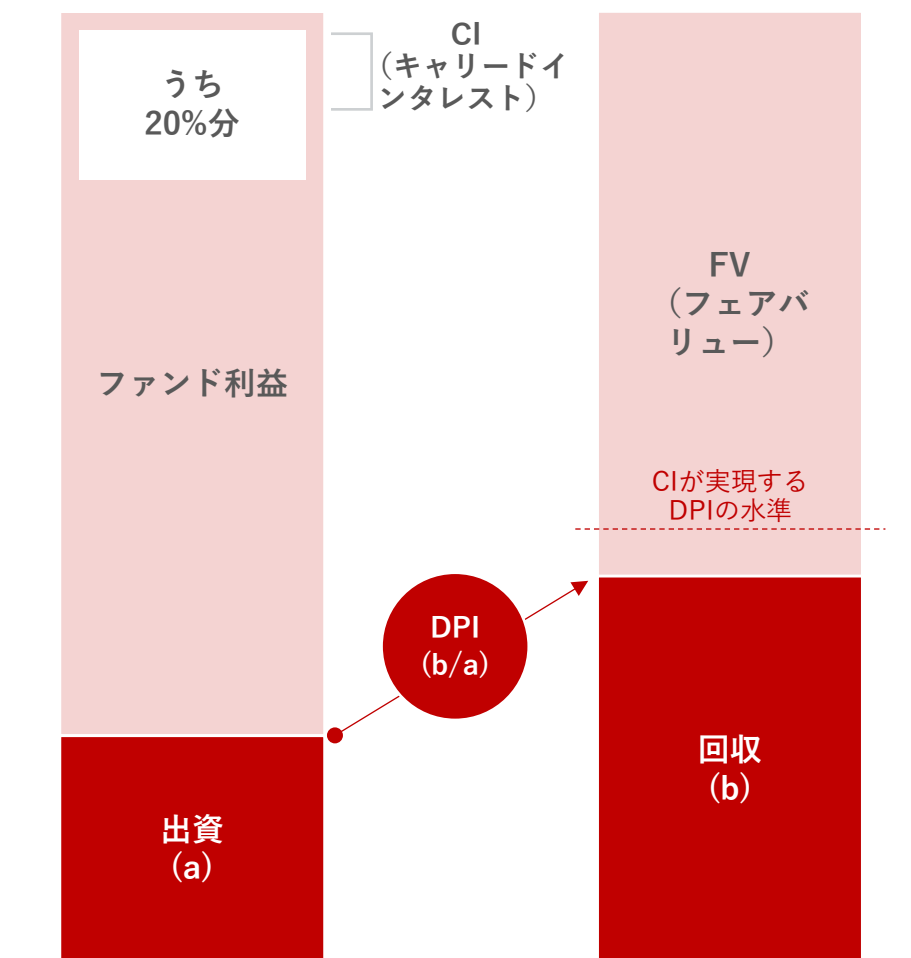


実現キャリドインタレストが
生み出され、PL上で収益認識

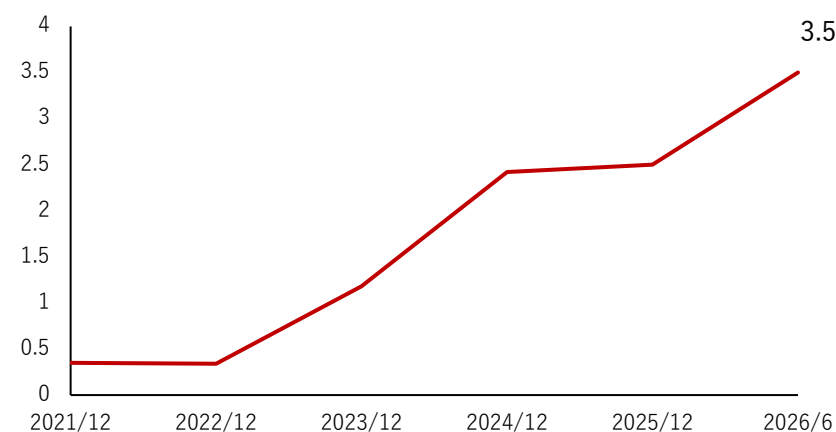


第二の柱④ キャリートインタレストの先行指標（DPI）

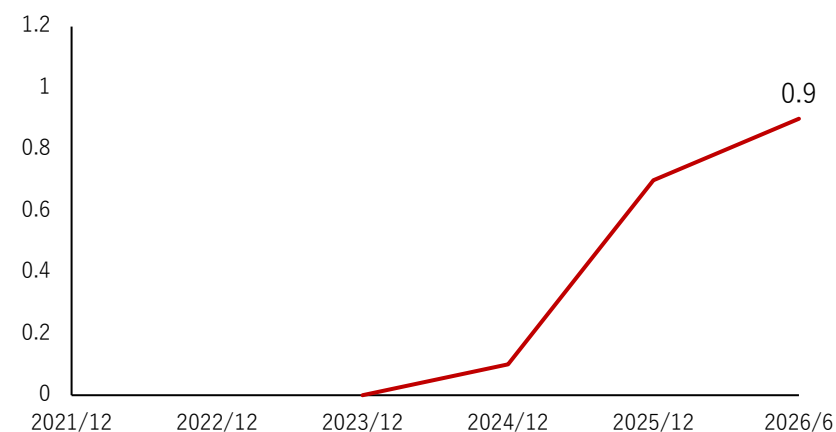
DPI (Distribution to Paid-In Capital)が先行指標に



3号シリーズ¹

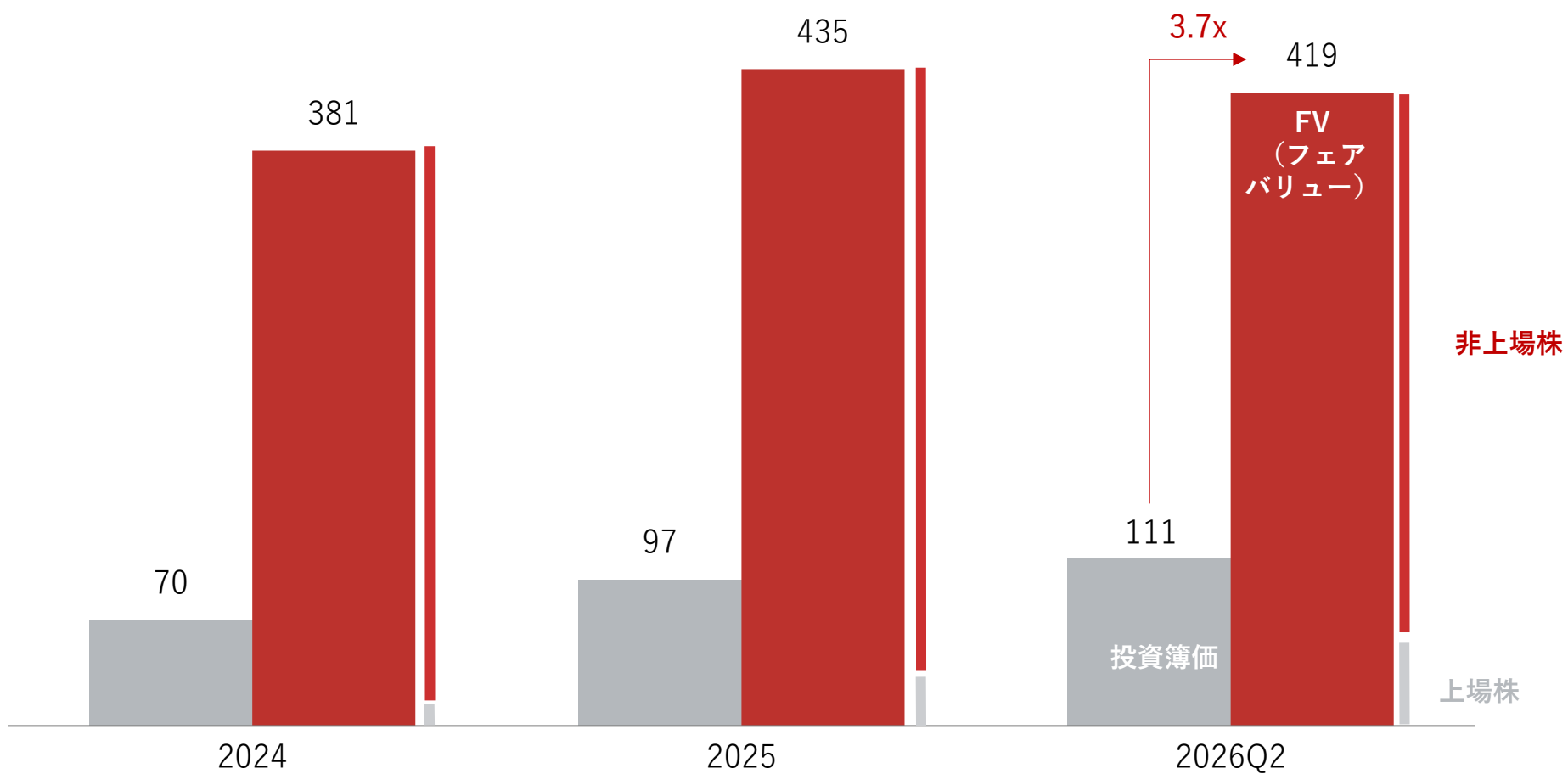


4号シリーズ



第三の柱 外部環境の変化等によりFVにインパクト

(億円)

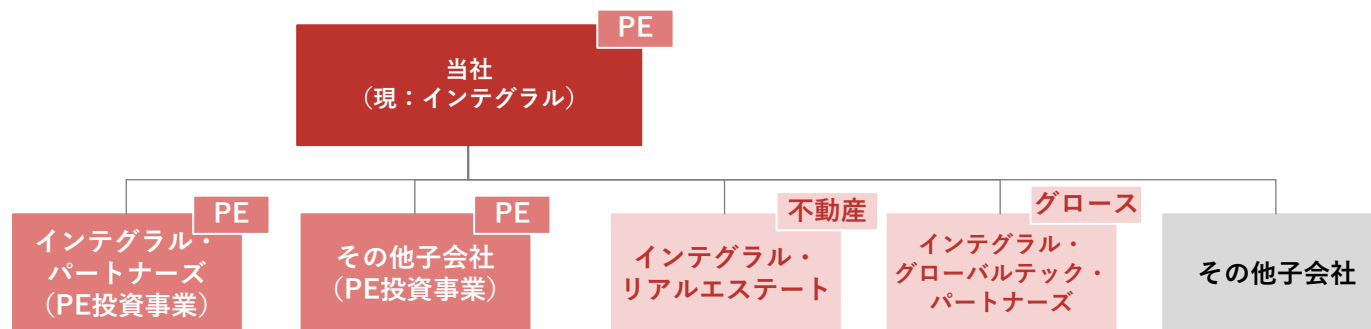


グループ統括会社体制への移行

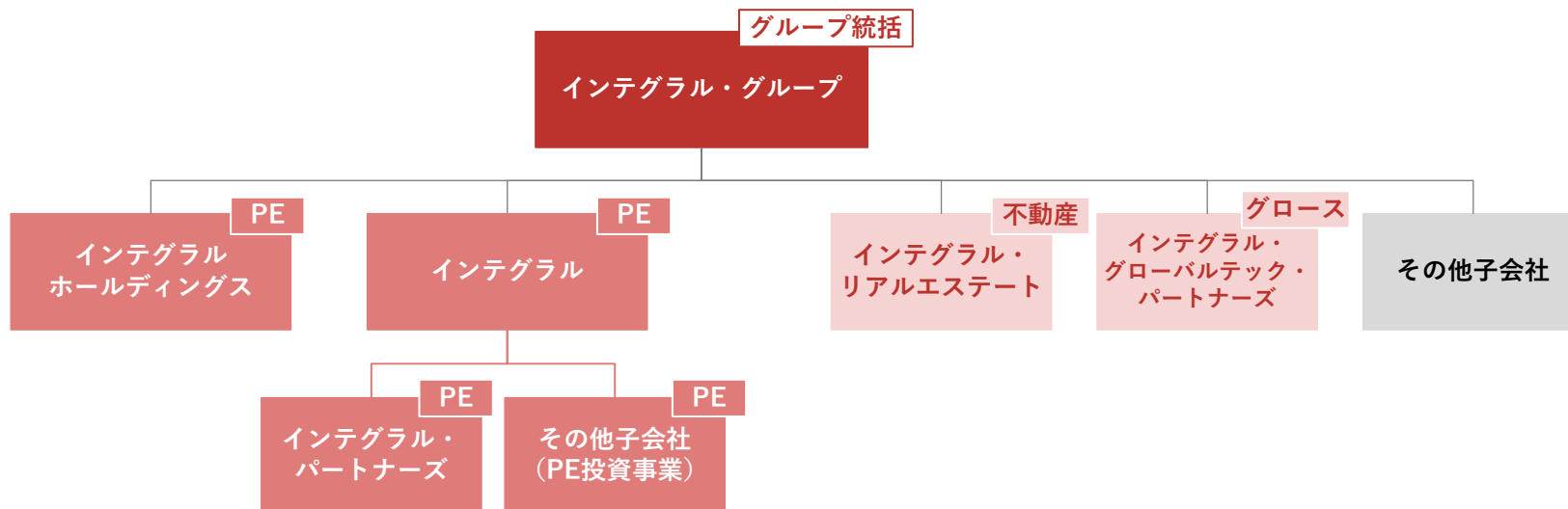
アセットクラス拡大を踏まえて、グループ内の資金配分の最適化・利益相反取引の調整を担う経営管理体制を構築

効力発生日は2026年10月1日（予定）

現在の体制



10月以降の体制



総括

投資実績

PE

- ・ 5号：2025年の投資開始以降、合計6件の投資実績、進捗率40%超
- ・ 4号：動物病院事業にロールアップ投資を継続的に実施
- ・ 足元ではパイプラインが充実

不動産

- ・ 2025年3月に投資開始、取得累計は29物件

グローバルテック・グロース

- ・ 2025年9月に投資開始、累計4件の投資実績

Exit実績

PE

- ・ 3号のExitは順調に進捗、4号も昨年1件目のExitを達成

不動産

- ・ 投資開始から1年程度で複数の物件を既にExit

投資チーム

PE・不動産・グローバルテック・グロース

- ・ FY2025にはマルチアセット戦略に伴い、年間で投資プロフェッショナル20人採用
- ・ 豊富な案件フローに対応可能

投資、Exit、投資チーム増員
いずれも着実に進展

Appendix



1

インテグラルについて

当社パートナー・CFO



山本 礼二郎

代表取締役パートナー / 創業メンバー



佐山 展生

パートナー / 創業メンバー



辺見 芳弘

取締役パートナー / 創業メンバー



水谷 謙作

取締役パートナー / 創業メンバー



早瀬 真紀子

取締役パートナー



二井矢 聡子

パートナー（弁護士）



後藤 英恒

パートナー



山崎 壯

パートナー



西岡 成浩

パートナー



澄川 恭章

CFO&コントローラー（公認会計士）

不動産投資ファンドのパートナー



江村 峻徳

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- ミリア・レジデンシャル
- イデラキャピタルマネジメント
- アーバン・アセットマネジメント



中井 宏典

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- CBREインベストメントマネジメント
- 東京海上アセットマネジメント
- ヒューリック
- K J R マネジメント
- 東急



中原 健佑

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- オリックス
- キャピタランド・ジャパン
- M&G Real Estate Japan
- Phoenix Property Investors Japan



住谷 智宏

インテグラル・リアルエステート株式会社
代表取締役パートナー / 創業メンバー

- ブラックストーン・グループ
- 大和証券SMBC

インテグラル・グローバルテック・パートナーズ



チーコン・チュン Chee Kong Choun

インテグラル・グローバルテック・
パートナーズ株式会社
代表取締役パートナー

起業家・投資家として豊富な経験を持ち、現在はインテグラルにてグロース投資を牽引。前職のTemasekのPavilion Capitalでは、日本投資責任者および投資委員会メンバーを務め、10億ドルを超える資産運用を指揮した。以前はテクノプレナーとして成功を収めたほか、Edenredやヒューレット・パカード・アジアパシフィックにて上級管理職を歴任。日本語が堪能であり、特にクロスボーダー投資や市場参入戦略において深い専門性を有する。

投資・Exit実績

1号投資 実行	 Yohji Yamamoto	 SHICATA co.	 アパマンショップ															
2号投資 実行					 convano	 J-Trading	 SKY	 ITOKIN										
3号投資 実行											 TOYO	 JRC						
																		
																		
4号投資 実行																		
																		
5号投資 実行																		
																		
																		
	2008	2009	2010	2011/ 2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
Exit					 SHICATA co.					 アパマンショップ	 QB HOUSE				 NBTC	 JRC		 TOYO
																T-Garden		

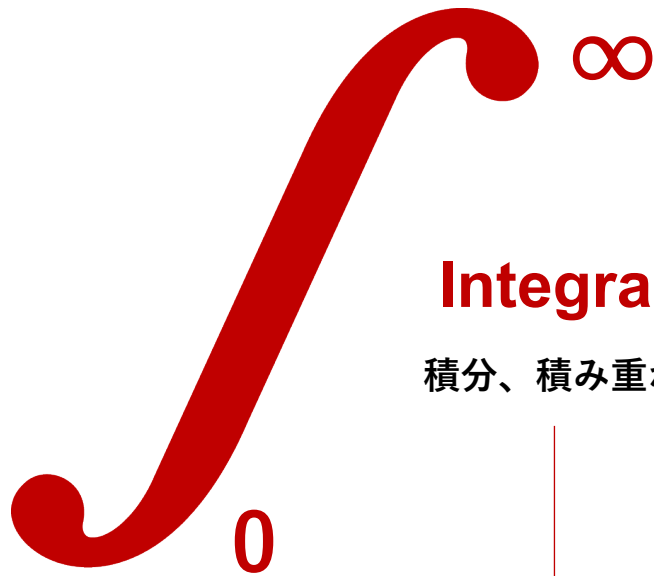
※部分Exit

2

インテグラルの特徴

Our Mission

我々のミッション



Integral

積分、積み重ね

ハートのある信頼関係と
最高の英知の積み重ね



Trusted Investor

信頼できる資本家

経営と同じ目線・
時間軸



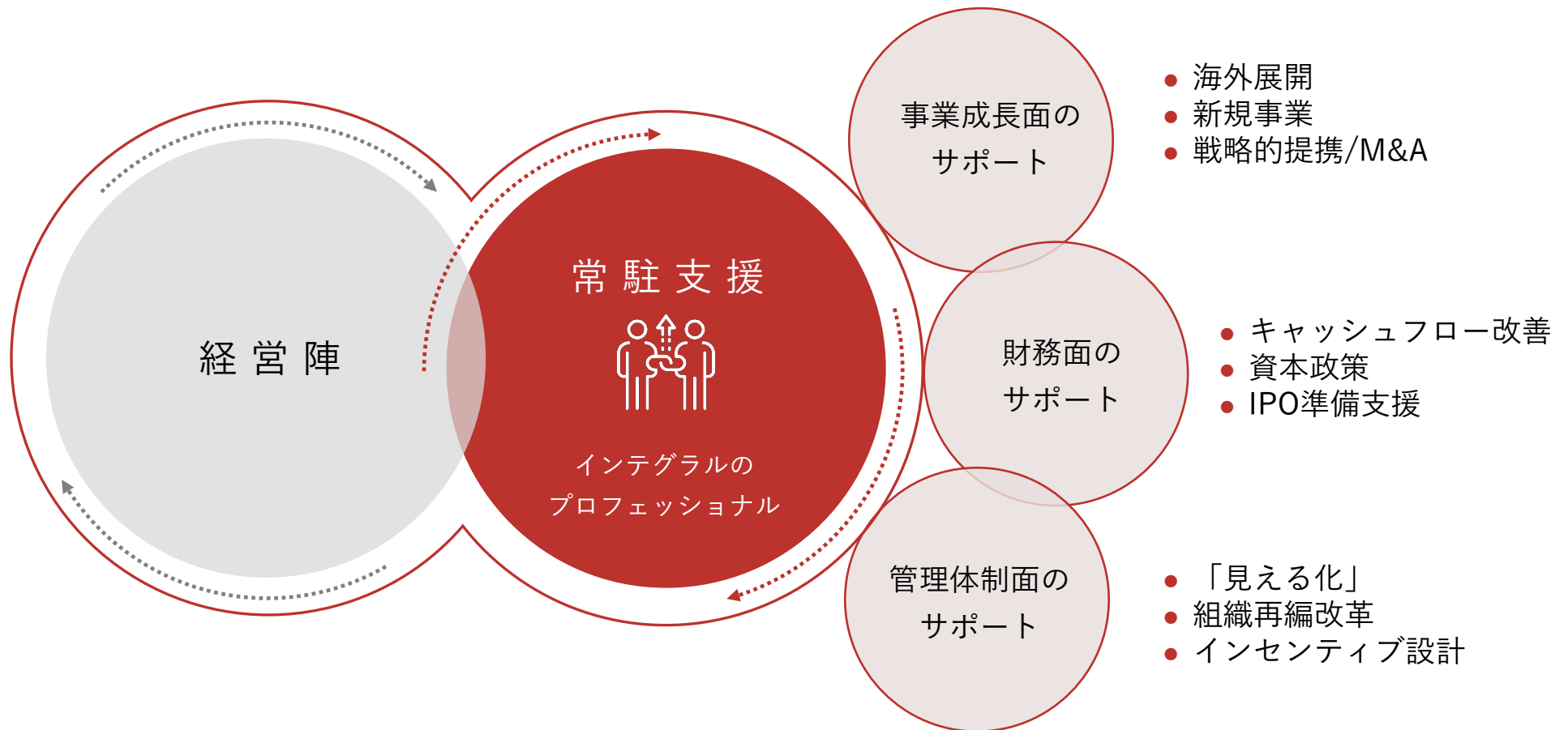
世界に通用する
日本型の企業改革を
実現

なぜインテグラルが差別化されているか



i-Engine とは

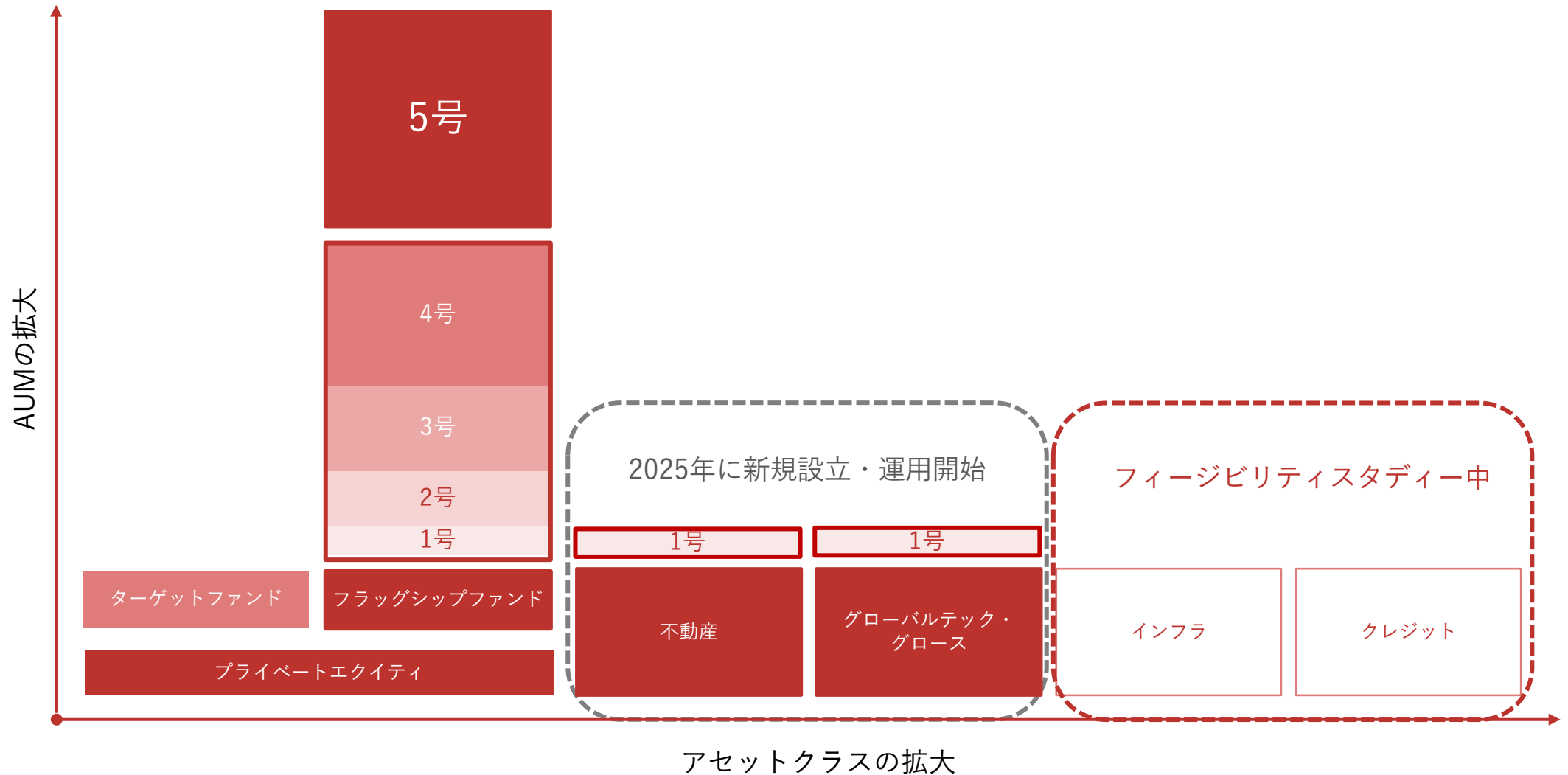
投資プロフェッショナルが常駐でハンズオン支援することで
社内体制強化を迅速かつシームレスに実行



3

成長戦略

マルチアセット化の更なる推進



4

チャンスに満ちたビジネス機会

日本には広大なアップサイドが存在



ファンドの資金調達サイド

GDP全体に占めるPE関与割合

Japan

0.4%

United States

1.3%

United Kingdom

1.9%

Germany

0.7%

日本はユニークであり
需要と供給の
両方が成長へ

オルタナティブ資産への投資割合

GPIF (Japan)

1.6%

PFA for Local Govt.
(Japan)

1.3%

Federation of
municipalities (Japan)

1.1%

GPF (Norway)

2.3%

NPS (South Korea)

15.9%

CalPERS (US)

28.3%

CPPIB (Canada)

53.0%

NSSF (China)

14.0%

CalSTRS (US)

45.5%



ファンドの投資サイド

PE投資事業：なぜ今が好機なのか？

事業承継

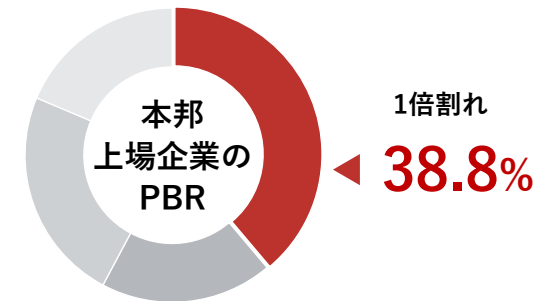
中小企業経営者の
70歳以上比率

25.3%

直近5年間の
事業承継M&Aの
増加率

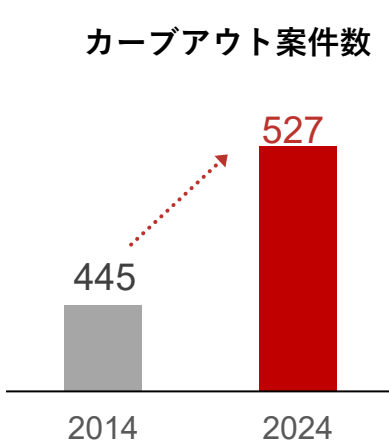
約3x

割安な株価評価

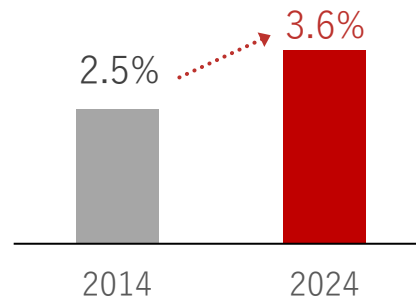


カーブアウト

カーブアウト案件数



うち、
PEファンド関与比率



アクティビズム

アクティビスト・
機関投資家による提案件数



同意なきTOBの件数



不動産事業：なぜ今が好機なのか？

インフレ時代に即した高収益の投資機会を提供

国内機関投資家の
バリュートゥアドファンド投資比率はまだ少ない

≈20%

バリュートゥアド戦略への投資家の
関心が拡大しつつある

バリュートゥアド投資の必要性

既存ストックへの価値向上に資する
資本投資により、魅力ある都市を創出

1990

2.8億㎡



2025

1.0億㎡

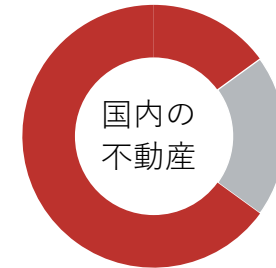
国内における建築着工面積は大幅に減少

事業会社が保有する不動産を深耕

事業会社保有の不動産を掘り起こし、
隠れた価値を引き出しより魅力的に

80%+

証券化されていない
不動産



希少な国内系運用会社

バリュートゥアドの経験を十分に有する
国内系運用会社は希少

≈3社

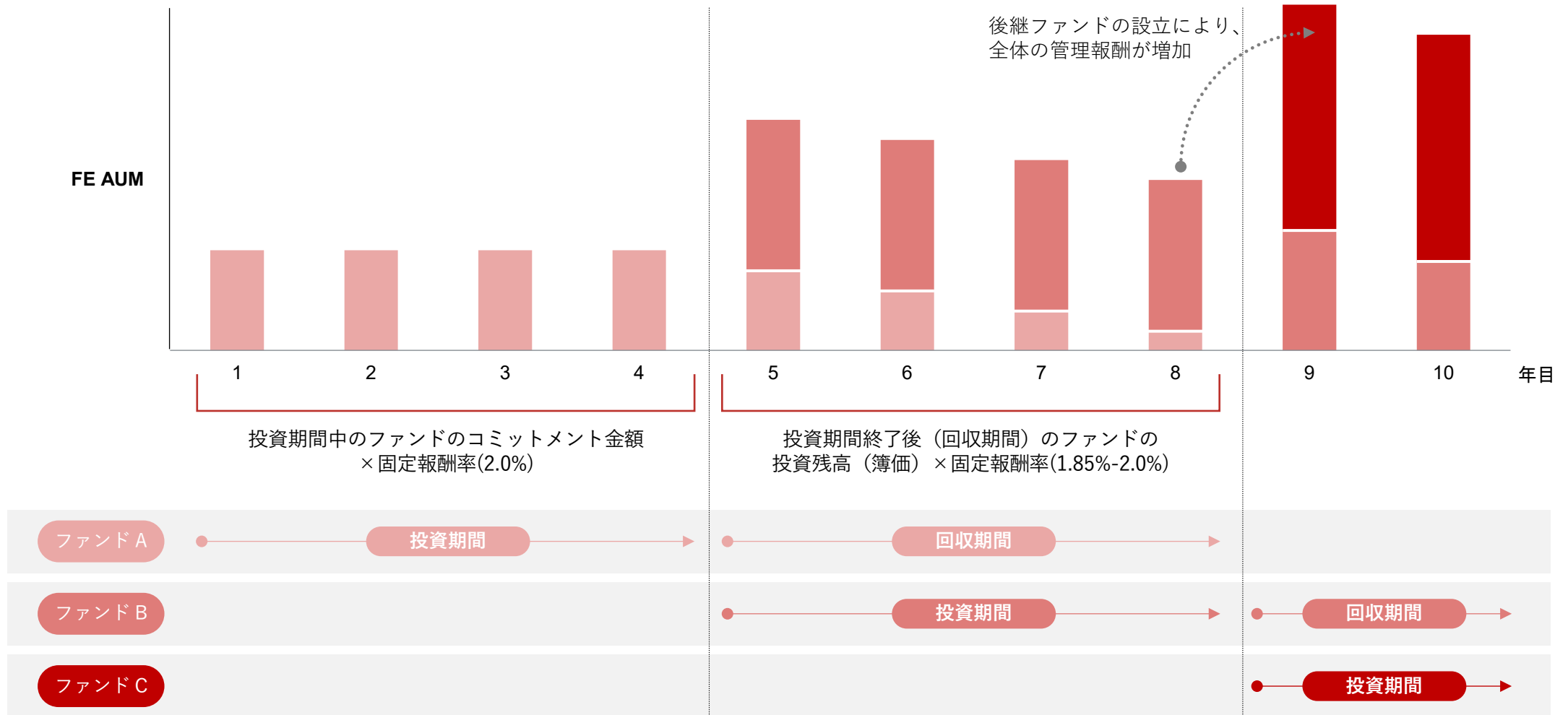
一任勘定型バリュートゥアドファンドの
国内系運用会社（当社含む）

5

インテグラルの事業モデル

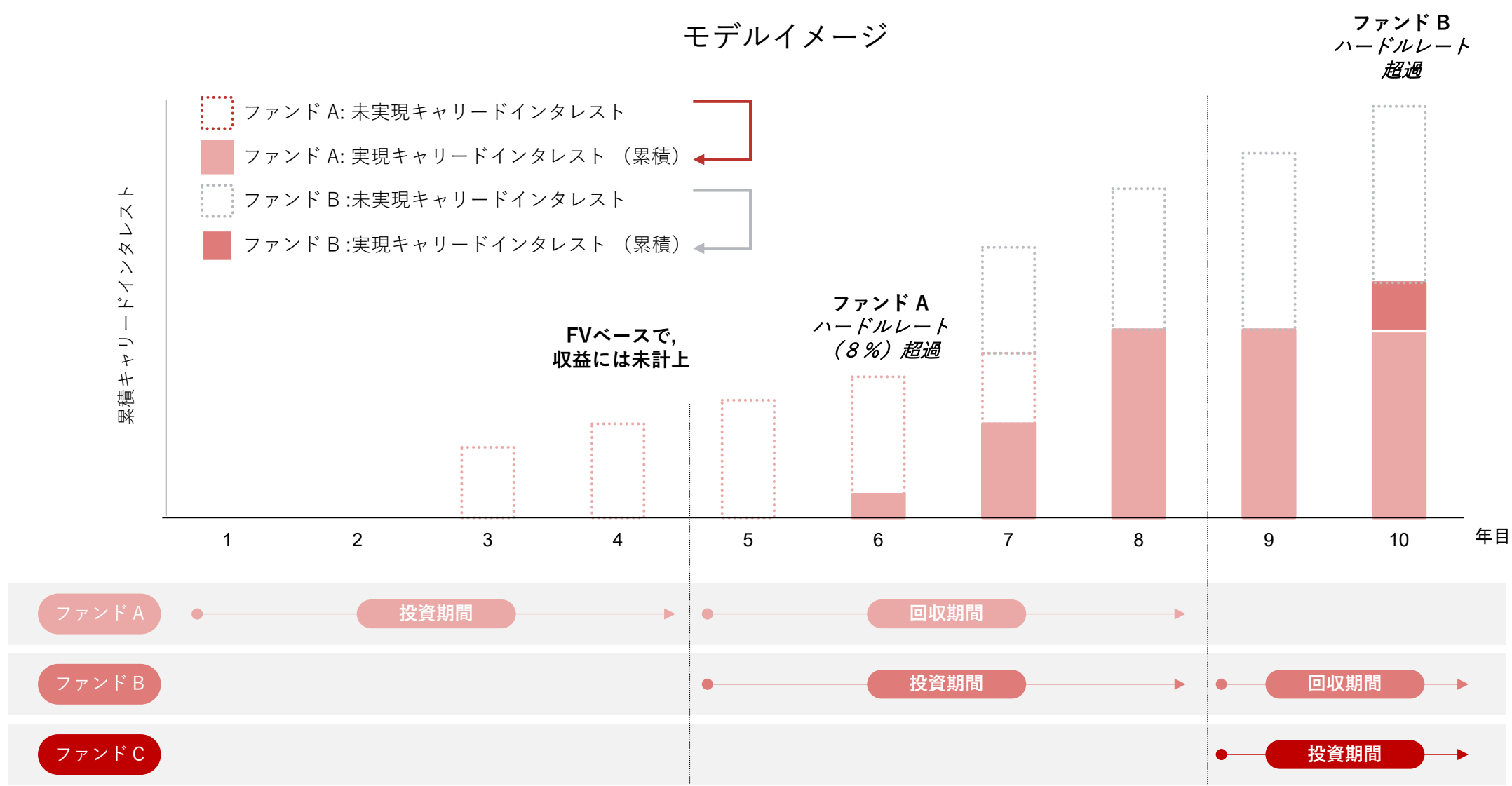
管理報酬が、企業価値向上の礎に

モデルイメージ¹



1. 前提条件：4年ごとに次号Fundを設立し、次号Fund毎にファンドサイズが1.5倍増加した場合の想定

ハードルレートを超えると、キャリドインタレストが実現



キャリードインタレストの高い投資効率

リターンに関するモデルイメージ¹

想定	投資額 (LP+GP)	100億円	GPコミットメント	2%
	投資期間	4年	ハードルレート	8%
	投資回収額	250億円	ハードル投資利益	36億円

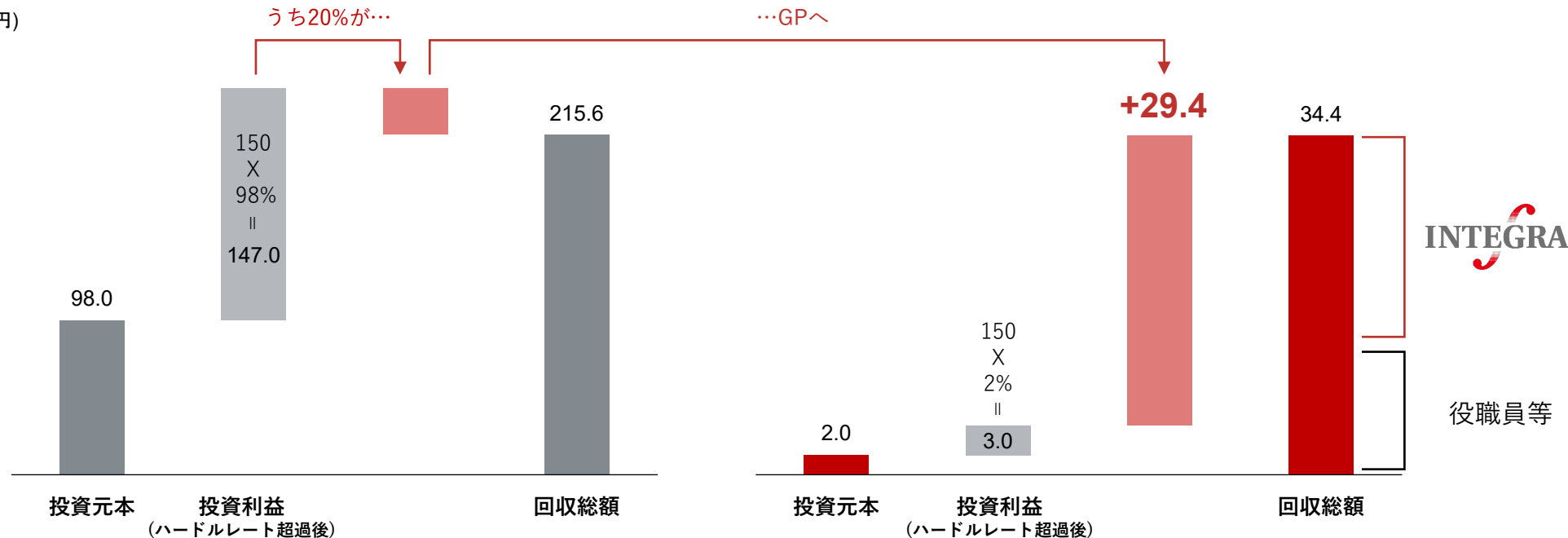
LPのリターン

MOIC¹ 2.2x: IRR¹ 21.8%

GPのリターン

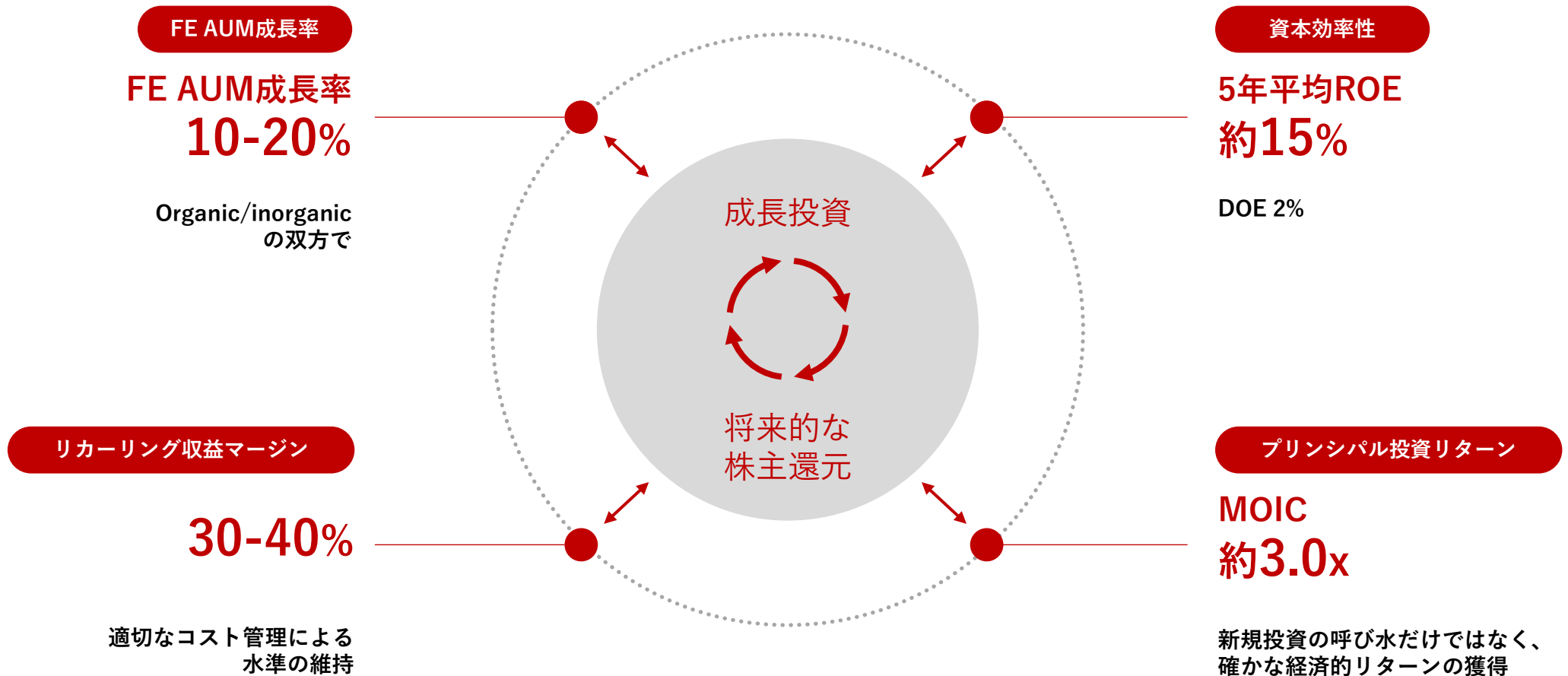
MOIC¹ 17.2x: IRR¹ 103.6%

(億円)



1. 上記の前提に基づき算出されたNet MOIC / IRRを指す。Net MOIC / IRRとはそれぞれ、案件への投資実行額に対する、当該案件の回収額(未実現のキャリードインタレストを含まない。)から諸費用を控除したリターンに基づく割合と内部収益率を指す

ターゲットしていく各KPI



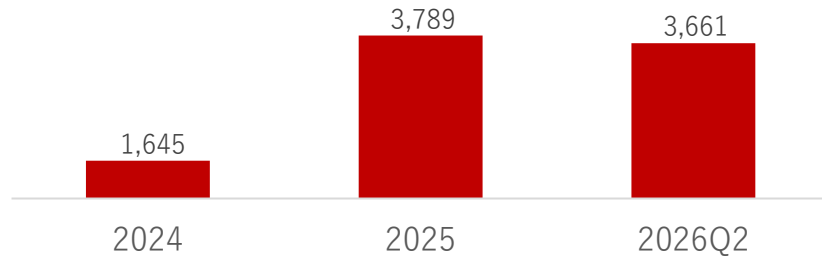
6

財務数値

FE-AUM、AUM、ファンドFV

FE-AUM¹

(億円)



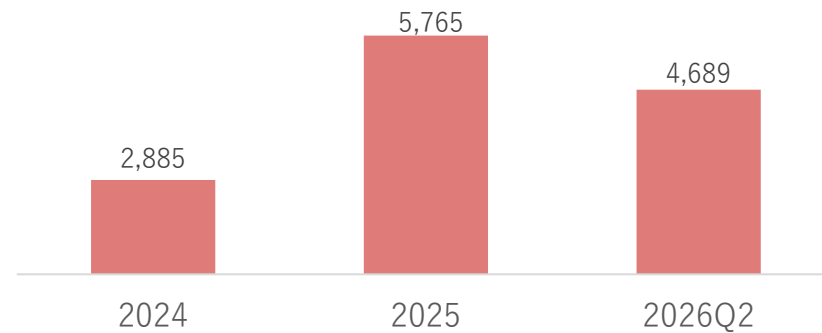
(投資期間中のファンド)
5号ファンドシリーズ、不動産1号
の出資約束金額

+

(投資期間終了後のファンド)
2・3・4号ファンドシリーズの投資残高

FE-AUM¹

AUM



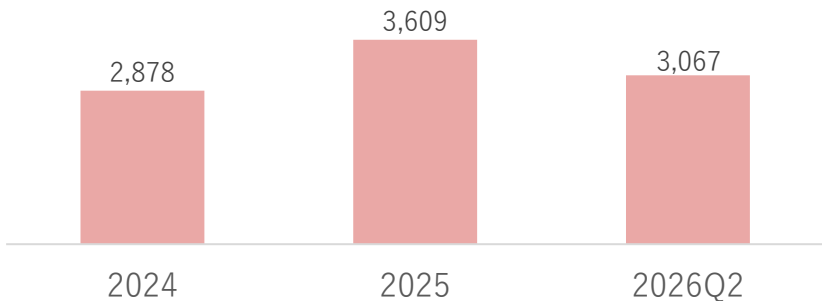
(投資期間中のファンド)
5号ファンドシリーズ、不動産1号
の出資約束金額
又は 投資ポートフォリオのFair Value
のいずれか大きい金額

+

(投資期間終了後のファンド)
2・3・4号ファンドシリーズのFair value

AUM

ファンドFV

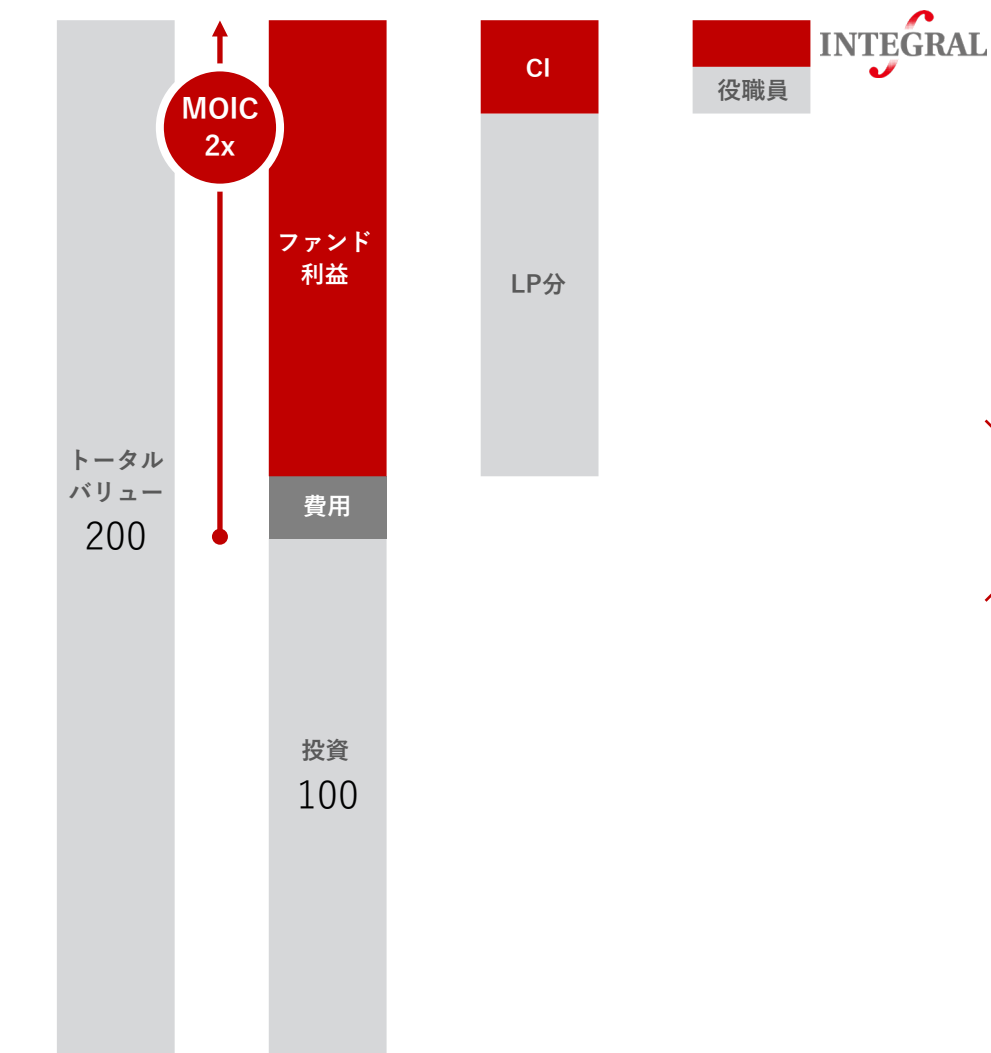


2・3・4・5号ファンドシリーズ、不動産1号
の投資中案件のFair Value

ファンド毎の未実現CI

(億円)

フレームワーク: MOICがCIの大きさに直結



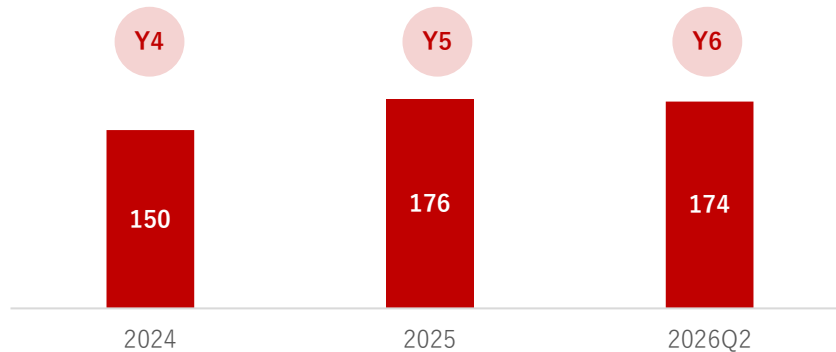
2号シリーズ



3号シリーズ



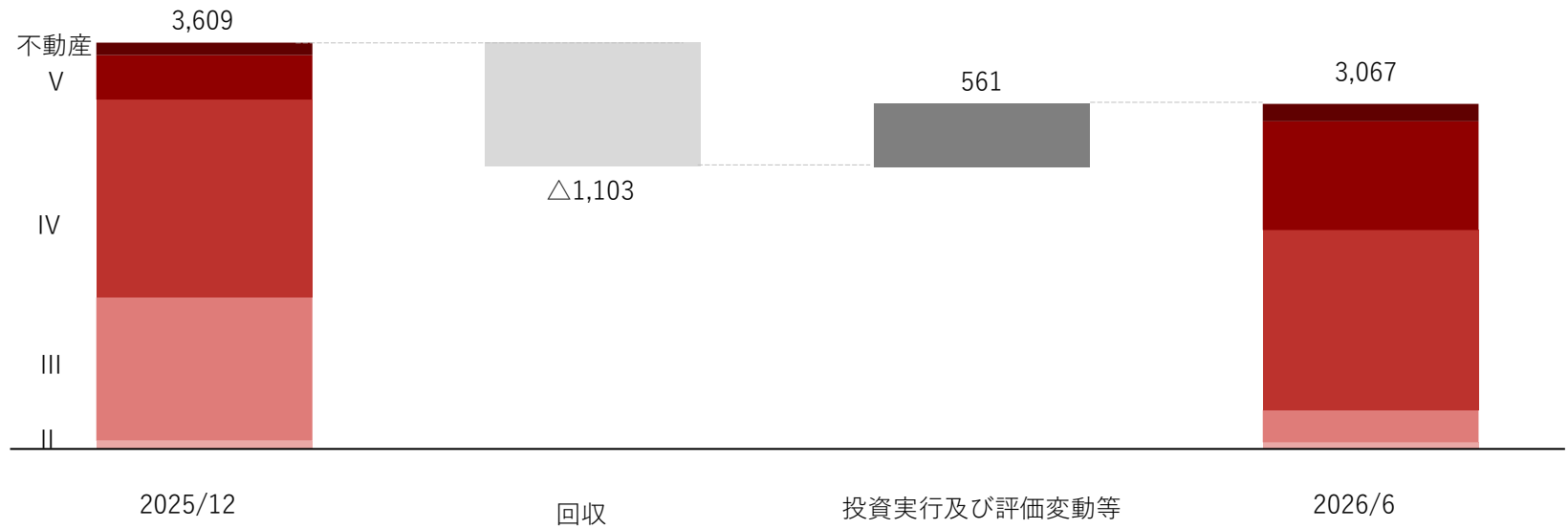
4号シリーズ



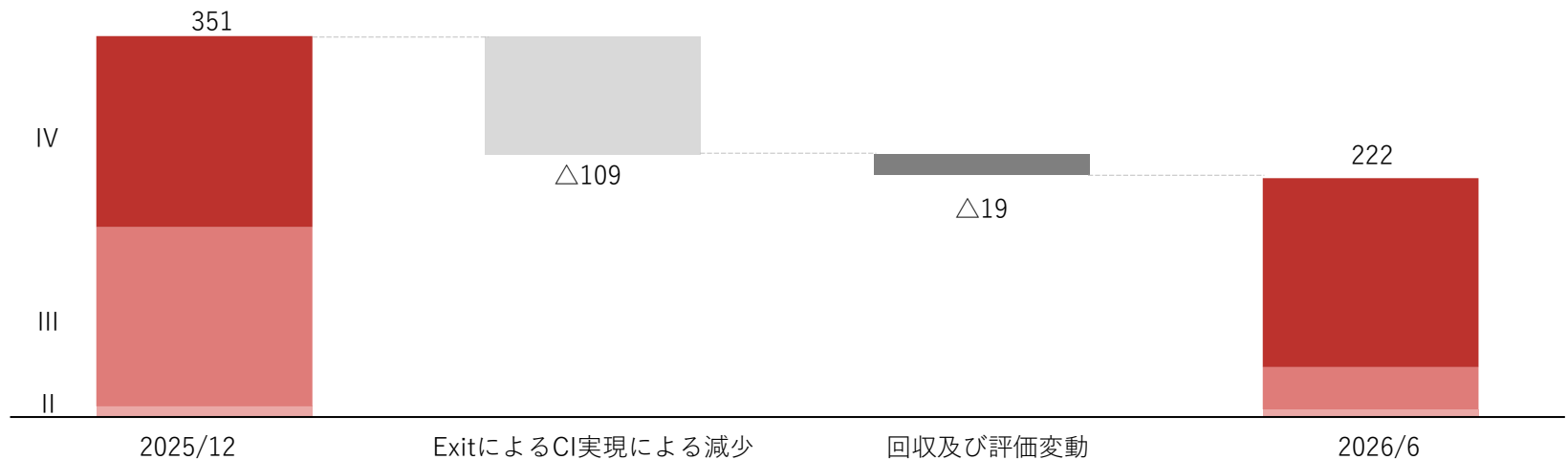
FVおよび未実現CI

(億円)

ファンドの
投資先FV
(フェアバリュー)



未実現CI
(キャリード
インタレスト)

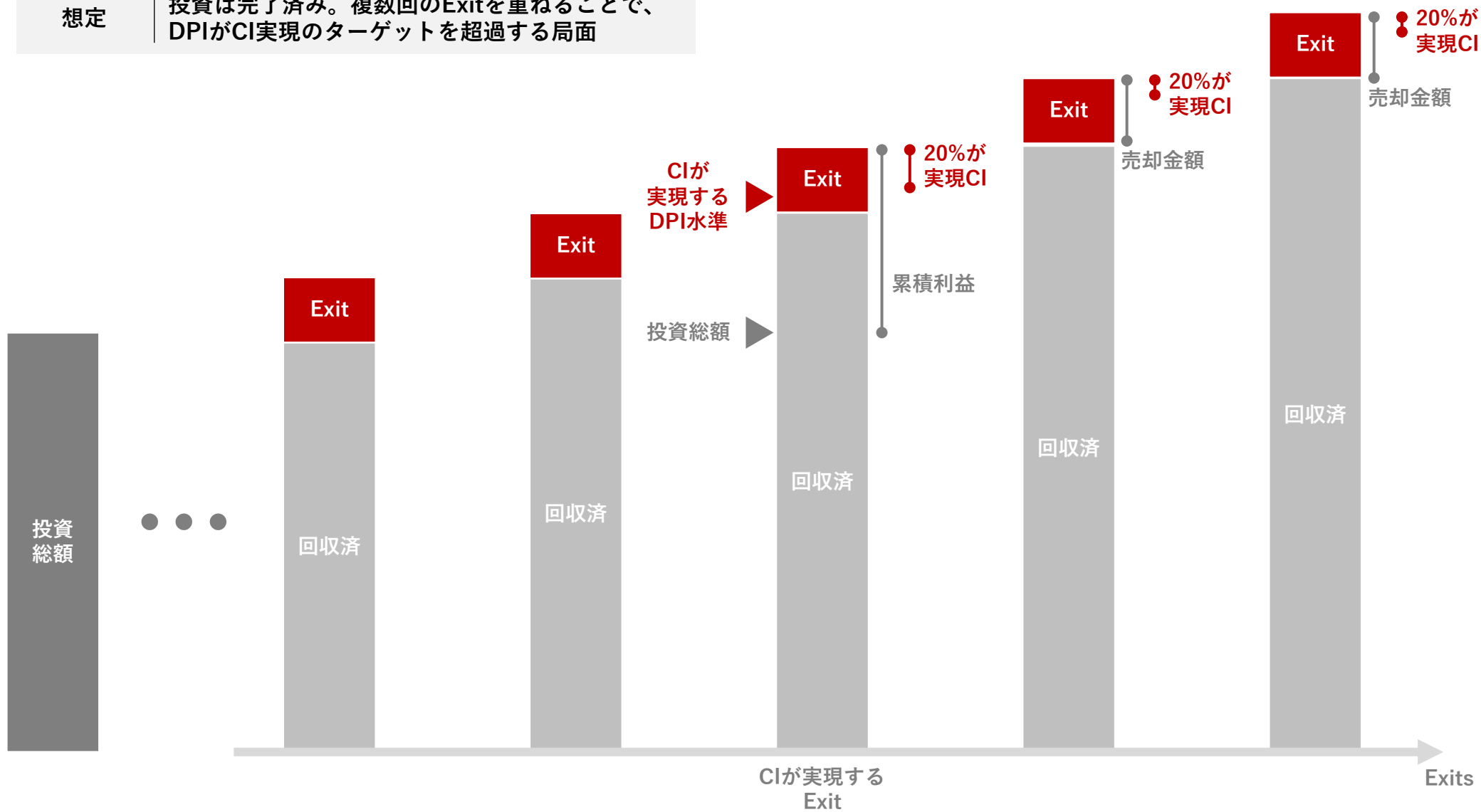


DPIとCI実現

1ファンドにおけるモデルイメージ

想定

投資は完了済み。複数回のExitを重ねることで、DPIがCI実現のターゲットを超過する局面



主要財務数値

連結損益計算書

(百万円)

	2025年12月期 Q2	2026年12月期 Q2	2025年12月期 通期
投資売却による実現利益（△は損失）	0	△14	0
ポートフォリオへの投資の公正価値変動	326	1,203	2,350
公正価値で評価している子会社の公正価値変動	△621	△600	1,969
配当	24	91	48
投資ポートフォリオからの受取利息	32	0	32
投資収益総額	△237	680	4,400
受取管理報酬	3,671	3,860	7,553
キャリートインタレスト	1,363	10,983	1,364
経営支援料	156	171	332
その他の営業収益	2	4	4
収益	4,955	15,699	13,655
人件費	1,374	1,965	2,889
その他販管費	690	986	1,509
営業費用	2,064	2,951	4,399
営業利益	2,890	12,748	9,256
金融収益	156	100	303
金融費用	154	174	295
税引前中間利益	2,893	12,674	9,264
税金費用	1,193	3,886	3,190
中間（当期）利益	1,699	8,788	6,073

主要財務数値

連結財政状態計算書

	前連結会計期間 (2025年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	19,277	35,794
営業債権及びその他の債権	901	2,796
未収法人所得税	1,756	10
有価証券	—	2,002
その他の短期金融資産	0	0
その他の流動資産	191	43
流動資産合計	22,128	40,647
非流動資産		
投資	57,711	57,293
ポートフォリオへの投資	14,673	16,140
公正価値で評価している 子会社への投資	43,037	41,153
有形固定資産	179	145
使用権資産	520	620
無形資産	0	0
貸付金	2,107	—
公正価値で評価している子会社への貸付金	390	857
その他の長期金融資産	264	276
その他の非流動資産	1	2
非流動資産合計	61,174	59,195
資産合計	83,303	99,842

	前連結会計期間 (2025年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	983	598
未払法人所得税	1,431	4,297
未払消費税	229	82
前受金	2,410	1,783
公正価値で評価している子会社からの借入金	1,300	10,001
リース負債	229	229
賞与引当金	—	419
その他の流動負債	160	139
流動負債合計	6,744	17,551
非流動負債		
借入金	2,107	—
リース負債	191	311
資産除去債務	212	212
繰延税金負債	11,619	11,200
非流動負債合計	14,130	11,724
負債合計	20,875	29,276
資本		
資本金	7,634	7,634
資本剰余金	6,459	6,490
利益剰余金	48,333	56,419
新株予約権	0	0
自己株式	△4	△4
親会社の所有者に帰属する 持分合計	62,422	70,538
非支配持分	5	27
資本合計	62,428	70,566
負債及び資本合計	83,303	99,842

主要財務数値

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当第2四半期 連結会計期間 (2025年6月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)	前連結会計期間 (2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前中間利益(△は損失)	2,893	12,674	9,264
減価償却費及び償却費	176	179	355
受取利息及び受取配当金	△214	△192	△384
支払利息	154	174	295
引当金の増減額 (△は減少)	9	419	△258
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	8,650	△1,894	9,877
ポートフォリオへの投資の増減額 (△ は増加)	△720	△1,466	△7,138
公正価値で評価する子会社への投資の 増減額 (△は増加)	△4,905	1,884	△7,841
貸付金の増減額 (△は増加)	440	2,251	440
公正価値で評価する子会社への貸付金 の増減額 (△は増加)	△200	△467	△390
その他の金融資産の増減額 (△は増 加)	0	△10	△0
その他の資産の増減額 (△は増加)	△77	67	△49
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△471	△391	86
未払消費税等の増減額 (△は減少)	99	△146	199
前受金の増減額 (△は減少)	315	△627	1,003
その他の負債の増減額 (△は減少)	3	△21	41
その他	△0	0	△0
小計	6,152	12,434	5,502
利息及び配当金の受取額	184	125	227
利息の支払額	△129	△30	△138
法人所得税の支払額	△6,663	△1,449	△6,972
法人所得税の還付額	—	1,756	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△456	12,836	△1,380

(百万円)

	当第2四半期 連結会計期間 (2025年6月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)	前連結会計期間 (2025年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得によ る支出	△83	△1	△84
有価証券の取得による支 出	—	△2,001	—
投資活動による キャッシュ・フロー	△83	△2,003	△84

(百万円)

	当第2四半期 連結会計期間 (2025年6月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)	当連結会計期間 (2025年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
公正価値で評価している 子会社からの借入れによ る収入	1,540	10,001	2,800
公正価値で評価している 子会社からの借入金の返 済による支出	△1,500	△1,300	△1,500
借入金の返済による支出	△831	△2,251	—
リース負債の返済による 支出	△107	△115	△214
自己株式の売却による収 入	31	31	38
配当金の支払額	△737	△680	△1,317
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,605	5,683	△1,394

報告セグメントに関する情報

2026年12月期第2四半期

(百万円)

	報告セグメント			その他 ¹	合計	消去又は 全社 ²	連結
	PE投資事業	不動産 投資事業	計				
収益							
投資収益総額	△604	894	290	389	680	—	680
外部顧客への収益 ³	14,635	384	15,019	0	15,019	—	15,019
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	—
合計	14,030	1,279	15,309	390	15,699	—	15,699
金融収益	88	0	88	0	88	12	100
金融費用	△72	△1	△73	△35	△109	△64	△174
セグメント利益 (△は損失)⁴	12,363	1,054	13,418	279	13,697	△1,022	12,674
セグメント資産 ⁵	45,856	6,849	52,705	4,587	57,293	—	57,293

1. 「その他」には当社グループが行っているグローバルテック・グロース投資事業を含んでおります。
2. 「消去又は全社」には、各セグメントに帰属しない金融収益、金融費用、全社費用が含まれております。全社費用は主に人件費、減価償却費及び償却費等であります。
3. 「外部顧客への収益」は、連結損益計算書上の「受取管理報酬」、「キャリドインタレスト」、「経営支援料」、「その他の営業収益」から構成されます。
4. 「セグメント利益 (△は損失)」は連結損益計算書上の「税引前中間利益」ベースの数値であります。税金費用はグループ全体で管理されていることから、事業セグメントには配分していません。
5. 「セグメント資産」は報告セグメントの資産の金額として取締役会において定期的に提供されている連結財政状態計算書上の「投資」ベースの数値であります。

用語集

本資料における用語	用語の内容
AUM (Asset Under Management)	運用資産残高。投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額又は 投資ポートフォリオのFair Valueいずれか大きい金額により、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオのFVにより集計
FE AUM (Fee Earning AUM)	投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額により、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオの取得原価残高により集計
MOIC (Multiple Of Invested Capital)	各ファンドシリーズにおける各投資案件への投資実行総額に対する総回収額及び未回収の投資先企業のFVの合計の割合
IRR (Internal Rate of Return)	投資案件に対するリターンを年率換算した収益率
プリンシパル投資	LPから集めてきたファンド資金によるファンド経由の投資（ファンド投資）ではなく、当社グループ自己資金による投資
管理報酬	ファンド運営の対価として当社グループが四半期ごとにファンドより受領する金額。投資期間中のファンド又は投資期間の定めのないファンドは出資約束金額、投資期間終了後のファンドは投資ポートフォリオの取得原価残高を基礎として報酬料率（年率1.85%～2.00%）を乗じた金額。
経営支援料	投資先企業より当社グループが受領する経営支援に対する対価
リカーリング収益	管理報酬と経営支援料の合計であり、当社グループが安定的に受領することが期待できる収益
GP (General Partner)	ファンドの運用に対して無限責任を負う組合員を意味し、ファンドの運用者である当社グループを指す
LP (Limited Partner)	ファンドの運用に関する権限を持たず、その責任はファンドに出資した金額を上限とする組合員を意味し、当社グループが運用するファンドの投資家を指す
ハードルレート	組合契約上で定められるファンドの投資家への優先分配を定めた割合。現行のファンドシリーズにおいては出資履行金額に対して年率8%（当社グループはGPとして、当該割合を超過後にキャリードインタレストを受領する権利が発生）
i-Engine	当社グループによるハンズオン型経営支援の呼称
DPI (Distributions to Paid-In capital)	ファンドの投資家による累計出資金額に対する投資家への累計分配金額の割合
キャリードインタレスト(CI)	ファンドがハードルレートを上回る分配を行った場合に当社グループが受領出来る分配額であり、ファンド利益累計額の20%から既に受領済のキャリードインタレストを控除した金額
未実現キャリードインタレスト	各四半期時点で投資先企業をその時点のFVで売却したと仮定した場合に当社グループが受領することが出来ると見込まれるキャリードインタレストの金額より既に実現済のキャリードインタレストを除外した金額（役職員によるGP出資分を除いた当社グループ取得見込み金額）
UCAT (Unrealized Carried Interest After Tax)	未実現キャリードインタレストから実効税率に基づく実現時の想定税金額を控除した金額
経済収益ベース純資産	連結財政状態計算書の「親会社の所有者に帰属する持分合計」とUCATの合計金額であり、未実現キャリードインタレストが実現したと仮定した場合に想定される資本の金額

INTEGRAL

A stylized red integral symbol ($\int$) is positioned behind the word "INTEGRAL". The symbol is rendered in a vibrant red color with a subtle gradient and a slight shadow effect, giving it a three-dimensional appearance. It is centered vertically and horizontally behind the text.